

平成30年2月 議会月例報告会

平成30年2月20日
企画情報課

□報告事項名 【 公開 ・ 非公開 】

- 1 第3次琴浦町男女共同参画プラン（案）（別紙）
- 2 地域おこし協力隊の募集について（別紙募集要領のとおり）
 - ① 業務内容 元気なまちづくりコーディネート業務
 - ・町内地域活性化団体の活動支援
 - ・琴浦まちづくりネットワーク（※1）の事務局支援
 - ※1…民間地域づくり団体の連携を強化するための組織
 - ② 募集人数 2名
 - ③ 応募締切 平成30年2月16日（金） ※応募状況：1名（2/13現在）
 - ④ 任用期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日
（初年度は3月末までとし、最長3年間延長あり）
- 3 琴浦こども塾第2期生の募集について（別紙募集ちらし案のとおり）
 - ① 対 象 小学4年生～6年生、中学1年生
 - ② 募集方法 町内各小学校を通じてちらし配布、行政放送、町ホームページ
 - ③ 応募締切 3月23日（金）
- 4 琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
 - ① 平成29年度地方創生関連事業進捗状況（上半期）
 - ② 琴浦町版総合戦略改訂（案）
- 5 発注状況（1月分）
別紙一覧表のとおり
- 6 まちネットまつりの開催について（別紙ちらし参照）
 - ① 日時 3月18日（日）午前9時45分～午後4時
 - ② 会場 カウベルホール
- 7 熱中小学校事業について（別紙）

第3次琴浦町男女共同参画プラン(案)

◆ダイジェスト版◆

平成30(2018)年度～平成34(2022)年度



コトウラ
で輝く

男女共同参画

コトウライフ

KOTOURA LIFE

琴浦町の目指す「男女共同参画のまち」

性別で差別されず、一人ひとりの個性と能力が十分に発揮できるまち

性別や性的指向に関わらず、全ての人の人権が尊重されるまち

性別によらず、様々な分野で自由に選択でき、活動できるまち

政策、方針決定過程などに、男女が対等な構成員として参画するまち

家族がお互いの協力と社会支援の下に、家庭生活やその他の活動を両立できるまち

◆この計画について

「男女共同参画社会」とは、女性も男性も全ての個人が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる社会です。

この男女共同参画社会の実現は、人口減少が見込まれ、集落での地域活動における担い手不足や、農業後継者の減少、町内企業の衰退といった状況が深刻化してきている琴浦町にとって、社会の多様性と活力を高め、経済が力強く発展していく観点や、男女間の実質的な機会の平等を担保する観点から、極めて重要です。

琴浦町では、平成18年に琴浦町男女共同参画推進条例を制定し、平成23年に第2次琴浦町男女共同参画プランを策定するなど、男女共同社会の実現に向けて様々な取り組みを推進してまいりました。

第3次琴浦町男女共同参画プランは、第2次プランの理念を継承しつつ、町民意識調査の結果を踏まえて評価と検証を行い、本町における男女共同参画社会の形成がさらに進むよう、実効性のある行動計画として策定するものです。

基本テーマ1

笑顔輝く

ワーク・ライフ・バランス
づくり

重点目標① ワーク・ライフ・バランスの 意識づくり

家庭と仕事の両立を支援するとともに、生活バランスの重要性について職場や家庭の理解をより深める取り組みを進めることで、ワーク・ライフ・バランスを推進します。

重点目標② 女性のキャリアアップ支援づくり

ワーク・ライフ・バランスを推進することによって、女性がより能力を発揮し、社会で活躍できる体制を整えます。また、女性の能力開発促進と意識改革を図ります。

項目	現状	目標値
	H28	H34
ワーク・ライフ・バランスを知っている人の割合	31.1%	50.0%
男女共同参画推進企業のうち、イクボス宣言企業率	36.3%	50.0%

基本テーマ2

笑顔輝く

地域
づくり

重点目標③ 参画できる地域活動づくり

男女が地域のあらゆる分野について決め事をする際、片方の性に偏らないバランスのとれた施策を行うことを目標に、地域活動などにおける男女の参画について一層の拡大に努めます。

項目	現状	目標値
	H28	H34
町の審議会等における女性委員の割合	36.0%	50.0%
「地域活動」において男女の地位が平等であると考える割合	33.2%	50.0%

◆計画の位置づけ

- (1) 男女共同参画基本法の理念に則り、女性活躍推進法における地域推進計画と合わせて（基本テーマ1、基本テーマ4が該当）、琴浦町男女共同参画条例第8条第1項の規定に基づいて策定するものです。
- (2) 第2次琴浦町総合計画との整合性を図り、琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略、琴浦町あらゆる差別をなくする総合計画等の個別計画を横断的に結びつけて、本町における男女共同参画社会の実現に向けた町の基本的な取り組みの方向と具体的な施策を示しています。

◆計画の実施期間

2018年4月～2023年3月までの5年間



基本テーマ3

笑顔輝く
家庭
づくり

重点目標④ 協力しあえる家庭づくり

家族全員がお互いの人権を尊重する取り組みや、性別による固定的な役割分担を解消する施策を行い、家事や育児などの家庭の仕事をより協力しあう家庭づくりを目指します。

項目	現状	目標値
	H28	H34
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対する割合	53.9%	60.0%
家庭生活上で男女が平等であると考えている割合	16.2%	40.0%

基本テーマ4

笑顔輝く
職場
づくり

重点目標⑤ 平等に働ける職場づくり

同じ仕事内容での賃金の差など、職場での条件全般において、男女の区別なく同じ条件下で働ける職場環境の確立を目指します。

重点目標⑥ 参画できる自営業の体制づくり

男女が、自営業を担う大切な構成員であることを認識し、協力しあえる施策を行うことを目標に、自営業者における男女共同参画を推進していきます。

項目	現状	目標値
	H28	H34
職場において男女の地位が平等であると考えている割合	22.7%	30.0%
男女共同参画推進認定企業数	22 企業	30 企業

基本テーマ5

笑顔輝く 心と身体 づくり



重点目標⑦ 身体的性差についての 理解と健康づくり

身体的違いについて理解を深め、配慮をすることにより、より働きやすい職場づくりや、家庭内での助け合いが可能となります。

重点目標⑧ 一人ひとりを認める理解づくり

男性・女性という枠にとらわれず、多様な性のあり方を認めることで、誰もが自分らしく生きられる社会を目指します。

重点目標⑨ 性別による差別・暴力を 許さない社会づくり

性別による差別・暴力行為を許さないという意識を社会全体でつくっていきます。また、被害者や加害者を支える体制の整備に努めます。

項 目	現 状	目標値
	H28	H34
過去1年間にドメスティック・バイオレンス(DV)を受けたことがあると答えた人の割合	1.9%	5年間で 0.5%減

基本テーマ6

笑顔輝く 男女共同参画 意識 づくり



重点目標⑩ 全町的な広がりを持った 男女共同参画意識づくり

社会全体や生活主体となる地域内で、男女共同参画に関する学習の機会を設けるなどの啓発活動を行っていき、男女共同参画に関する意識づくりに努めます。

重点目標⑪ 子どもの頃からの 男女共同参画意識づくり

性別に関係なく、お互いを思いやり、支えあう関係をつくることを目標に、小さな頃からの人権尊重の意識づくりを目指します。

項 目	現 状	目標値
	H28	H34
社会全体で男女の地位が平等であると考える割合	19.0%	25.0%
「男女共同参画社会」を知っている町民の割合	50.4%	60.0%
学校教育が男女平等だと考える人の割合	63.6%	75.0%

琴浦町地域おこし協力隊隊員募集要領

琴浦町では、地域の活性化活動に意欲のある都市住民を受け入れ、活動を通して地域力の維持及び強化を促進するため、都市地域等から琴浦町へ転入して地域おこしに取り組む「地域おこし協力隊」の隊員を募集します。

最長3年の任期終了後に、就職又は起業等による町内への定住を前提として、意欲を持って取り組む方を受け入れます。任期中は担当業務を行いながら、自身の就職や起業準備を行っていただきます。

1 募集人数

2名

2 応募資格

- (1) 年齢が平成30年1月1日現在で20歳以上50歳未満の方
- (2) 次に該当しない方
 - ① 成年被後見人及び被保佐人
 - ② 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- (3) 三大都市圏をはじめとする都市地域等（過疎・山村・離島・半島等の地域に該当しない市町村）から琴浦町に住所を移し、居住できる方
- (4) 普通自動車運転免許を持っていること
- (5) パソコン（ワード、エクセル及びインターネットなど）の一般的な操作やSNSを活用した情報発信ができること
- (6) 任期終了後も琴浦町に定住し、起業・就業しようとする意欲のある方
- (7) 地域住民や地域団体とコミュニケーションを図りつつ、地域の活性化に意欲を持って活動できる方

3 業務・活動

地域住民や関係団体、行政等と連携・協力して、次のような地域おこし活動を行っていただきます。

- (1) 元気なまちづくりコーディネート業務
 - ① 町内地域活性化団体の活動支援
 - ② 琴浦まちづくりネットワーク（※1）の事務局支援※1…民間地域づくり団体の連携を強化するための組織
- (2) 地域振興活動
 - ① 地域活動や行事への参画と参加、関係する地域活性化団体への活動支援
 - ② 都市住民等の移住、定住及び交流事業に係る支援
 - ③ まちの元気発信業務（SNSを活用した情報発信）

4 雇用形態

琴浦町一般職の非常勤職員として琴浦町長が任用します。

5 任用期間

平成30年4月1日～平成31年3月31日

活動状況・実績等を勘案して、最長3年まで延長します。

6 賃金等

- (1) 賃金：月額166,000円（社会保険料等の本人負担分が差し引かれます）
その他手当なし
- (2) 社会保険等：厚生年金、健康保険、雇用保険

7 住居

住居は、琴浦町が用意する住宅に居住していただきます。
借上料は、町が負担します。ただし、光熱水費、通信費、燃料費等は負担してください。

8 勤務地

琴浦町内

9 勤務日・勤務時間・休日

- (1) 勤務時間
週35時間勤務を基本とし、必要に応じて休日等の勤務もあります。
- (2) 勤務を要しない日
祝日及び年末年始（12月29日から1月3日）
- (3) 休暇
有給休暇（月に1日）

10 応募方法・人選・結果のお知らせ

- (1) 応募方法
別紙の応募用紙にご記入のうえ、締切日までに琴浦町企画情報課に郵送又はご持参ください。
- (2) 応募締め切り
平成30年2月16日（金）※当日消印有効
- (3) 選考方法
書類及び面接による審査を行います（※応募の秘密は守られます）。
 - ① 一次選考（書類選考）
「琴浦町地域おこし協力隊隊員応募用紙」
応募用紙をもとに書類選考を行います。選考結果は、平成30年2月下旬に、応募者全員に文書で通知します。
 - ② 二次選考(面接による選考)
一次選考合格者を対象に、琴浦町役場を会場に面接による選考を行います。
面接予定日は平成30年2月26日（月）～3月3日（土）の間で1日を予定しており、日程が決まり次第通知いたします。
※面接予定日の都合が悪い方は、相談に応じます。
※面接会場への移動にかかる経費は応募者負担となります。

11 お問い合わせ

琴浦町企画情報課（担当：梅津）

住所：〒689-2392 鳥取県東伯郡琴浦町徳万591-2

TEL：0858-52-1708 FAX0858-49-0000

Eメール：kikakujoyohou@town.kotoura.tottori.jp

案

4/21(土)
9:30~
開塾式

じせだい いくせい
次世代育成

じゅく
琴浦こども塾

第二期生を募集します

募集対象：小学4年生～6年生、中学1年生
(平成30年4月現在)



スポーツ少年団の文化版。そんな子どもたちの学びの場です。

運動で体を動かすのも楽しいけれど、物事を調べたり考えたり、時には町内に出かけたり、学校の勉強とはちがう学びを一緒にしてみませんか。

琴浦町では、子どもの頃からいろいろな経験や、人との関わりを通して、考える力や実行力を育て、将来その力を発揮して活躍できる人を育てようと、平成29年度から「琴浦こども塾」を開塾しました。

「論語(ろんご)」から昔の人の生き方や教えを学ぶと共に、礼儀作法(れいぎさほう)や地域の自然・歴史を通じた体験活動などにより、ふるさとを知り、大切に思う心を育んでいくことを目的としています。

主な内容

- 論語・・・物事の考え方や先人の教えを学び、普段の生活の中で考えたり気づいたりする心を育てます。
- 郷土の偉人を学ぶ・・・塩谷定好、川合清丸、菊姫など
- フィールドワーク・・・河本家住宅、文化財、自然や歴史、文化などの探訪や体験
- 礼儀作法・・・茶道などを通したおもてなしの心、所作などを学ぶ



問合せ先

琴浦町役場 企画情報課

電話 (0858) 52-1708

詳しくは裏面をご覧ください

年間活動予定 ※内容は変更となることがあります。

第1回 4/21	開塾式/オリエンテーション/論語 ※体験入塾・家族見学の日	第8回 8/18	町内探訪（鳴り石の浜、お寺での学び）	第15回 12/15	礼儀作法（茶道②）
第2回 5/19	礼儀作法（正しい姿勢）/論語	第9回 9/1	体験学習（サバイバル体験）	第16回 1/5	論語/百人一首
第3回 6/2	論語/河本家住宅の歴史	第10回 9/15	論語/グループ活動	第17回 1/19	礼儀作法（茶道③）
第4回 6/16	論語/グループ活動	第11回 10/6	論語/グループ活動	第18回 2/2	論語/学習発表会の準備
第5回 7/7	論語/郷土の偉人（塩谷定好）	第12回 10/20	論語/町内探訪（旧中井旅館で琵琶と語り）	第19回 2/16	学習発表会に向けた準備
第6回 7/21	論語/郷土の偉人（塩谷定好写真記念館）	第13回 11/17	礼儀作法（茶道①）	第20回 3/2	論語/学習発表会 ※家族見学の日
第7回 8/4	体験学習（古代塩づくり）	第14回 12/1	論語/グループ活動	第21回 3/16	論語/年間のまとめ/終了式

募集要項

募集対象者 琴浦町内の小学校4年生～6年生、中学1年生（平成30年4月1日現在の学年）

募集人数 20名（応募多数の場合は先着順となります）

日時 毎月第1、第3土曜日午前9時30分～11時30分

場所 まなびタウンとうはく等（河本家住宅など別会場で実施する場合の移動はマイクロバス送迎有）

入塾式 平成30年4月21日（土） 会場：琴浦町筈津「河本家住宅」（入塾式は現地集合）

実施期間 平成31年3月までの期間 ※次年度以降も継続して実施します。

受講料 無料 ※ただし、教材費、保険代等として年間2,000円をご負担いただきます。

応募方法 申込書を以下のいずれかで提出してください。

郵送（企画情報課宛）

〒689-2392
琴浦町大字徳万591-2
琴浦町役場企画情報課

Eメール（企画情報課アドレス）

kikakuiyouhou@town.kotoura.tottori.jp

※申込書をファイル添付してください。

持参

各小学校
役場企画情報課窓口

申込の締切 平成30年3月23日（金）

開催の案内 申込者には4月上旬に開塾式の開催案内を送付します。

琴浦町ホームページ <http://www.town.kotoura.tottori.jp/>

キリトリ

申込書

（平成30年4月現在の状況をご記入ください）

（ふりがな） 申込者氏名		性別（男・女） ※該当するものに○をつけてください
生年月日	平成 年 月 日	
在籍している 学校名	小学校・中学校	学年（小学4年生・5年生・6年生・中学1年生） ※該当するものに○をつけてください
ご住所	〒	
保護者氏名		
自宅電話		緊急連絡先 （保護者携帯等）
交通手段	まなびタウンとうはくへの主な交通手段に○をつけてください（複数可） ・車での送迎 ・JR ・バス ・徒歩 ・自転車	
備考欄		

※お預かりした個人情報は本事業に関する連絡以外には使用しません。

平成29年度琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる事業進捗状況一覧(9月末現在)

基本テーマ1 コトウラで育む 地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり

基本テーマごとの成果目標

	H28年度実績	H29年度実績
事業実施による成婚数	15組(累計) 2組	
合計特殊出生率	1.71 1.66 (H27)	
25歳時点における町内定着率	80% 52.60%	

重点項目1 出会いと結婚の希望をかなえる

(1) 縁結び・婚活事業の充実

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
事業による成婚者数	15組(累計)	5組(H27まで)	2組	
結婚に関するセミナー及びイベント町内参加者数	150人(累計)	(実績値なし)	31人	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)
婚活イベントの実施	(琴浦くるくるツアー)	今年度事業実施予定なし H28まで:農家担い手確保対策の一環として、町内の独身農業後継者を主として独身の方を対象とした交流の場を設定し、町内の農業後継者等の結婚活動機会の支援を行い、定住促進を図る。	・第1回～第7回までの成婚数 5組 ・第8回の成婚数 2組 ・今年度以降、合計で成婚数 10組			農業委員会	今年度事業実施なし		
	広域婚活事業	中部1市4町と鳥取中部ふるさと広域連合で連携して婚活イベントやセミナーを実施。その企画や運営に協力する。	・結婚に関するセミナー及びイベント町内参加者数 40人	200,000		企画情報課	広域連合が婚活イベントの実施に向けてプロポーザルを実施。9月12日選考委員会開催し、委託先を決定。11月から12月にかけてイベント開催予定。		
	お寺で縁結び	縁結びコーディネーターが実行委員となり、お寺を会場とした婚活イベントを開催し、結婚に向けた出会いの場の創出を図る。	・成婚数 2組	80,000		企画情報課	10月9日開催に向けて、6月に実行委員会を立上げ、7月末から募集開始。		
縁結びコーディネーターの活用	縁結び事業	少子化、晩婚化に歯止めをかけるため、結婚の推進に理解と意欲を有する縁結びコーディネーターが支援活動を行う。	・縁結びコーディネーター 2人増 ・事業による成婚 4組	306,000		企画情報課	コーディネーター5名(継続4名、新規1名)連絡会5回開催		
	結婚新生活支援事業	経済的理由で結婚に踏み出せない方の結婚促進を図るため、新婚生活を開始する際に新たに賃貸した物件の家賃助成を行う。	・事業実施者 3組 ・平成28年婚姻数 300組	720,000		企画情報課	広報紙やHP等で周知しているが、要件に合致しないため、申請なし。		

重点項目2 子どもを産み育てやすいまちづくりの実現

(1)子育て世代の経済的支援

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
出生数	592人(累計)	117人(H25)	114人	
第3子以降の出生数	135人(累計)	27人(H26)	33人	
保育サービスに満足している保護者の割合	70%(H31)	53%(H25)	実績なし (H29調査予定)	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価 (3.2.1.0)
特定不妊治療費の助成	特定不妊治療費助成金交付事業	不妊治療費に係る経済的負担の軽減を図るとともに、少子化対策に寄与することを目的とし、特定不妊治療並びに男性不妊治療に要する経費の一部を助成する。	出生数の増加	1,500,000		子育て健康課	実績:7件(10回分)865,000円 (申請人数:7人)		
妊婦・乳幼児健診の充実	妊婦健康診査・乳幼児健康診査	母子及び乳児・幼児に対し、健康の保持及び増進を図るため、健康診査・指導などを行う。	育児にストレスを抱えていない保護者の割合 1歳6ヶ月児健診 44% 3歳児健診 54%	-		子育て健康課	育児にストレスを抱えていない保護者の割合 1歳6ヶ月児健診 48.4% 3歳児健診 40.0%		
第3子以降出産祝金の交付	第3子以降出産祝金交付事業	児童の増加を図り、地域社会の活性化に寄与するため、第3子以降の出産に対し、祝金を支給する。	対象家庭への確実な給付	4,000,000		子育て健康課	第3子:16件 1,600,000円 第4子:2件 300,000円 第7子:1件 300,000円		
保育料の軽減(第2子以降保育料無料)	第2子以降保育料無料化	第2子以降の保育料を無料化する。	子育て世帯への負担軽減	-		子育て健康課	延べ1379件 述べ22,353,050円軽減		
保育の質向上を目的とした研修等の実施	教育・保育研修、発達支援研修	保育園・こども園職員を対象に教育保育研修及び発達支援研修を開催する。	研修会参加者数:延べ1,500人	240,000		子育て健康課	教育保育研修15回述べ280人 発達支援研修13回述べ390人		
医療費助成制度の拡充	特別医療費助成事業	健康の保持と生活安全を図るため、ひとり親家庭、18歳までの方に対し医療費の一部を助成する。	なし	-		町民生活課	特別医療全体 対象者 3,270名 支給額 58,911,584円 ひとり親家庭、小児分 対象者 2,811名 支給額 27,275,572円		
高校生通学費の助成	高等学校生徒通学費補助金	遠距離の町営バスを利用して通学する高校生の保護者に対し、町営バスによる通学費を助成する。		416,000		教育総務課	申請者数 14人 申請件数 15件		
進学奨励金の給付	進学奨励金給付事業	経済的理由により修学が困難な方に対し、修学の途を開き、社会に有用な人材を育成することを目的として奨励金を交付する。	対象者への確実な給付	20,388,000		人権・同和教育課	9月時点で6,441,500円支給 規則改正を行い、8月から大学・専修学校生等について支給対象の拡充を行った。		
就職促進奨励金の給付	新規学卒者就職促進奨励金支給事業	新規学卒者の方で身体障害ある方等に、就職の促進及び就業の安定を図ることを目的に、奨励金を支給する。	対象者への確実な給付	300,000		人権・同和教育課	250,000円給付済み		
若年層に対する住宅家賃低廉化	コーポラスことうら管理事業	町営住宅コーポラスことうらの家賃を軽減し、子育て世帯や移住定住者の入居を促進する。	全80戸の家賃改訂 3,000円(1F~3F) 5,000円(4F) 6,000円(5F)	25,932,000		建設課	H28.4.1より家賃改定施行 H29.9.30現在、71戸入居(入居率約89%)		

	入学支度金	ひとり親家庭の健全な育成を図り、福祉の向上を推進するため、小・中学校に入学する児童を養育している配偶者のいない方に対し、支度金を支給する。	対象家庭への確実な給付	330,000	130,000	福祉あんしん課	請求者数15人 決定者数13人(小学生8人、中学生5人)		
	母子福祉事業	母子家庭及び父子家庭の経済的自立を図るため、就労支援及び生活支援を行う。	対象家庭、施設への確実な給付 自立に向けた支援	5,183	6,160	福祉あんしん課	母子保護措置者 1名 自立支援教育訓練給付金受給者 2名		

(2)楽しく子育て・親育て支援

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
育児にストレス・悩みを抱えていない保護者の割合	1歳6カ月児:50% 3歳児:60% (いずれもH31)	1歳6カ月児:40.6% 3歳児:50.4% (いずれもH26)	1歳6カ月児:47.1% 3歳児:35.2%	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価 (3.2.1.0)
乳児(0歳児)家庭保育支援給付金の交付	乳児家庭保育支援給付事業	乳児期の親子の愛着形成を図るため、家庭で0歳児の保育を実施する保護者に対し経済的支援を行う。	対象家庭への確実な実施	5,800,000		子育て健康課	26件申請 1,890,000円		
乳児及び妊産婦に対する健康支援	母子保健事業	母性及び乳児・幼児に対し、健康の保持及び増進を図るため、相談・保健指導、健康教育、健康診査などを行う。	育児にストレスを抱えていない保護者の割合 1歳6ヶ月児健診 44% 3歳児健診 54%	-		子育て健康課	育児にストレスを抱えていない保護者の割合 1歳6ヶ月児健診 48.4% 3歳児健診 40.0%		
産後ヘルパーの派遣	産後ヘルパー派遣事業	産後家事援助が必要な家庭へヘルパー派遣し、保護者の負担軽減を図る。	2世帯利用	160,000		子育て健康課	2世帯利用あり。 (利用日数延べ20日間)		
すくすくことうらプロジェクト	こども・子育て支援事業	ことうらすくすくプランの実施状況の点検評価を行う。	中間年によるプランの見直し	45,000		子育て健康課	子ども子育て会議9月15日開催		
3世代同居のための住宅リフォームに対する助成	子育て三世帯同居住宅リフォーム助成事業	三世帯が同居するための住宅改修経費の一部を助成する。	2世帯助成	400,000		子育て健康課	1件申請受付中		
ことうら10秒の愛 ～やさしさの貯金～の啓発	ことうら10秒の愛 ～やさしさの貯金～	ことうら10秒の愛を推進し、大人の子どもに対する意識の向上を目指す。	自分にはいいところがあると思う中学生の割合 75%	778		社会教育課	定期的に実行委員会を開催し、10秒の愛日めくりカレンダーを作成した。10/6に完成。町内保育園・こども園、小中学校等へ配布予定。		
要保護児童対策	要保護児童対策事業	要保護児童等の発生予防、早期発見、早期対応および再発防止のための自立支援を行う。	要保護児童家庭削減前年度比5%減	267,000		子育て健康課	平成28年9月末 30世帯 平成29年9月末 23世帯 23%減		

(3) 勤労世帯の子育て支援

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
育児中に働きやすいと感じる人の割合	70% (H31)	50% (H25)	実績なし (H29調査予定)	
育児休業取得向上事業の利用件数	25件 (累計)	5件 (H27)	3件	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価 (3.2.1.0)
育児休業取得に対する支援	育児休業促進奨励金事業	従業員に育児休業を取得させた事業主に対して奨励金を交付する。	利用件数(累計) 25件	2,550,000		商工観光課	利用件数 5件		
休日保育・病後児保育の実施	休日保育の実施	しらとりこども園での休日保育の実施	対象家庭への確実な支援	990,000		子育て健康課	登録児童8人 開所日 29日 延べ利用児童 40人		
	特別保育の実施	延長保育や、病後児保育といった子育て支援のほか、障がい児保育、乳児保育などの特別保育を行う。	特別保育への確実な支援	48,650,000		子育て健康課	延長保育:全園にて実施 病後児保育:みどり保育園にて実施 障がい児保育:対象児童在籍の園にて実施		
ファミリーサポートセンターの充実	ファミリーサポートセンター事業	子育て支援を必要とする会員と、支援を提供する会員を仲介し、子育て環境を整備し地域の中で子育てを支援できる体制の整備を図る。	利用件数 対前年比5%増	2,083,000		子育て健康課	利用件数39件 (利用人数延べ308人)		
放課後児童クラブの充実	放課後健全育成事業	放課後及び長期休暇に保護者がいない児童を対象に遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る。	学習支援員2名配置	907,200		子育て健康課	学習支援員2名配置		

重点項目3 子どもの能力を伸ばす教育環境の充実

(1) 安心して学べる学校環境の充実

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
全国学力テストの平均点	全国学力テストで全国及び県平均以上を維持、得点上昇(H31)	全国及び県平均以上(H27)	(小6)県平均を超えている (中3)県平均と同等	
不登校児童・生徒数	H26より減少(H31)	(町単位の数値は非公開)	長期欠席児童・生徒は減少した	
特別支援教育活動コーディネーターの配置人数	2人(H31)	1人(H27)	1人	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)
脳活・スキルアップ事業の拡充	脳活スキルアップ学習の推進	いきいきあそび・脳活スキルアップ学習推進フォーラム	各学校で実施100%	100,000		教育総務課	保・こども園88% 小中学校100%		
魅力、特色ある教育体制の整備 (ICT機器の整備と利活用の推進)	ICT機器の整備	ICT機器年次整備計画に基づき、各小中学校へICT機器の整備を行う。	年次整備計画実施100%	738,000		教育総務課	タブレット端末の配備 小学校 計81台 中学校 計8台		
	少人数教育の推進	きめ細やかな少人数教育を実施する。	県基準に基づく少人数学級の100%実施	6,000,000		教育総務課	浦安小5年、八橋小4年、赤碓小5年で実施している		
	語学指導外国青年招致事業	児童・生徒が外国語や異文化に触れ、国際感覚を身につけるため、外国語指導助手を招致する。	外国語指導助手配置数2名	7,822,000		教育総務課	中学校2校へのALT配置 小学校5校、保・こども園5園への派遣実施		
	麟蹄郡中学校交流事業	国際教育の一環として、麟蹄郡の中学校と交流する。	10名の派遣と相手校生徒の受入れ	400,000		教育総務課	7月26日から28日の3日間、生徒10名、教員3名を受入れ、交流を実施した		
鳥取県中部子ども支援センターとの連携	中部適応指導教室運営負担金	学校に登校できないが、環境が変われば学習できる子どものための教室の維持管理負担金	支援が必要なケースへの関わり100%	1,231,000		教育総務課	9月末時点での利用者なし		
教育相談員やスクールカウンセラー等の設置	スクールソーシャルワーカー活用事業	スクールソーシャルワーカーを配置し、児童・生徒の置かれた様々な環境に対し支援を行う。	支援が必要なケースへの関わり100%	2,808,000		教育総務課	教育委員会事務局への配置とし、要対協ケース等、福祉・子育て部局との連携が増えた。		
発達障がい等への支援や通級教室の設置	インクルーシブ教育システム推進事業	地域支援コーディネーターを配置し、発達障がいを含む障がいのある幼児、児童、生徒の支援を行う。	地域支援コーディネーターの学校訪問毎月実施100%	1,130,000		教育総務課	相談件数 保・こども園 計76件 小学校 計146件 中学校 計44件		
	通級指導教室	個々の学習適応障がいに応じ決め細やかな教育を行う通級指導を実施する。	各学校からの通級希望者の受入れ100%	166,000		教育総務課	通級児童生徒数 八橋小17名 東伯中12名		
学校支援ボランティアの活用	地域で育む学校支援ボランティア事業	小・中学校にボランティアコーディネーターを配置し、生活支援や学習支援、環境整備、地域文化の伝承や安全パトロールなどを行い、安心安全な学校生活の実現を図る。	ボランティア計画の100%実施	689,000		教育総務課	各学校ともコーディネーターを配置し、地域住民による学校支援ボランティア活動を実施している		

家庭教育の支援及び推進	家庭教育支援推進事業	幼児・児童・生徒を持つ保護者を対象に家庭教育についての学習機会として、講演会等を開催し、家庭教育支援を行う。	子育て支援講座の参加者数25%増	171,000		社会教育課 教育総務課 子育て健康課	(家庭教育講座)3回実施。参加者数132人(合計) (子育て支援講座)2回実施。参加者数91組(合計)		
-------------	------------	--	------------------	---------	--	--------------------------	--	--	--

重点項目4 ふるさとを愛する教育の充実

(1)ふるさとへの誇りと愛着の醸成

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
琴浦町に愛着を持つ中学生の割合	アンケートによる数値が毎年前年度を上回る	(実績なし)	実績なし (H29実施を検討)	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価 (3.2.1.0)
学校教育におけるふるさと学習の充実(あいラブ琴浦)	次世代ことうらっ子育て推進事業	次世代育成の一環として、子どもを対象にした各種体験活動等を行い、子どもの成長と地域教育力の向上を図る。	将来琴浦町へ住みたい中学生の割合 60%	575,000		教育総務課 社会教育課	6月より、ことうら子どもパーク運営委員会に実施委託し、ものづくり教室や料理教室、フィールドワークなど9回開催。		
ことうらのよさを認識できる活動機会の創出	ふるさと愛着推進事業	町内小学3年生に“わたしたちの琴浦町マップ”を配付する。	町内全ての小学3年生に琴浦町マップを配付。	0		教育総務課	琴浦町マップを配布し、各小学校3年生社会科の学習で活用。(掲示用教材も配布)		
農産物の栽培体験などを通じた「生きる力」や「ふるさと愛」の育成	総合的な学習	町内の小学校において、梨栽培体験を行う。	全ての小学校で農産物の栽培体験を実施	475,000		教育総務課	全ての小学校で梨栽培体験学習を実施		
	総合的な学習	町内の中学校において、そば栽培体験を行う。	全ての中学校で農産物の栽培体験を実施	141,000		教育総務課	東伯中学校で、そば栽培体験学習を実施		

(2)文化・芸術・遊びを通じた子どもの心の育成

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
授業以外で芸術文化活動に年1回以上触れた児童・生徒の割合	アンケートによる数値が毎年前年度を上回る	(実績なし)	実績なし	
芸術体験の実施	町内全小中学校で実施	町内全小学校で実施	中学校は1校のみ実施(赤碓中実施なし) 全小学校で実施(八橋・赤碓は6年生のみ対象に実施)	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)
芸術体験(青少年劇場、とっりの芸術宅配便、舞台芸術体験事業等)	青少年劇場・本物の舞台芸術体験事業	児童生徒に芸術鑑賞の機会を与え、豊かな人間性の育成を図る	児童生徒の豊かな人間性の育成	418,000		教育総務課 社会教育課	青少年劇場巡回公演:9月5日赤碓小学校で実施(全校児童対象)		
カウベルホールを活用した幼児の音楽活動体験の実施	文化芸術振興事業	芸術文化の振興を図り、生涯学習及び地域文化活動の推進を総合的に行う。	ソフト事業の適正な実施(直営化後の体制確立)	1,259,000		社会教育課	カウベルスマイル倶楽部、響け!カウベル合唱団の運営を適正に行った。		
土曜学習の充実	ことうら子どもパーク	次世代育成の一環として、子どもを対象にした各種体験活動等を行い、子どもの成長と地域教育力の向上を図る。	将来琴浦町へ住みたい中学生の割合 60%	575,000		社会教育課	6月より、ことうら子どもパーク運営委員会に実施委託し、ものづくり教室や料理教室、フィールドワークなど9回開催。		
遊びを通じたひとづくり	モデル子ども会	「子どもの手による子ども会」を目指し、子供たちが主体的に企画し活動する子ども会をモデル子ども会として町内にPRを行う。子ども会活動の中で人間関係のネットワークづくり、社会性を身につけることを目指し活動を行う。	モデル子ども会 2子ども会	40,000		社会教育課	逢東1・2・3区子ども会、八橋1区子ども会、ガーデンヒルズ子ども会が申込み。子ども主体による企画会議を実施、イベントを企画・実行した。		
子どもの遊び場環境の整備	子どもの遊び環境整備事業	子どもたちが安全に遊べる環境を維持・管理するため、町内公園の遊具の点検を行う。	事故ゼロ	324,000		企画情報課	町内20箇所公園の遊具点検業務を発注し、業務実施中。		
	スポーツ少年団育成強化	スポーツ少年団の運営補助により、少年少女の健全な育成を図る。	・団員・保護者・指導者の連携を図る。 ・スポーツを通し健全育成交流を図る。	1,063,000		社会教育課	4月1日に結団式及び海岸清掃を実施した。新規にイルカスポーツ少年団が登録し16団(団員333人、指導者56人)で活動開始。		
	社会体育指導及び推進	サッカーJ3ガイナレ鳥取との連携事業などを通し、心身ともに健康で明るいまちづくりを推進する。	・町民の健康づくり生涯スポーツ推進	1,964,000		社会教育課	中国地区スポーツ推進委員研修会(岩国市)に4名を派遣した。		

平成29年度琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる事業進捗状況一覧(9月末現在)

基本テーマ2 コトウラで創る 安定した就労環境の整備と魅力あるしごとづくり

基本テーマごとの成果目標

	H28年度実績	H29年度実績
農林水産業関連への新規就業者	30人(累計)	23人(累計)
新規起業業者数	9件(累計)	2件

重点項目1 自然の恵みからなる農林水産業の振興

(1)遊休農地の解消と担い手の育成

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
農林水産業への新規就業者数	30人(累計)	1人(H26)	23人	
農地所有適格法人数	16組(H31)	13組(H26)	17組	
遊休農地面積	35.0ha(H31)	38.4ha(H26)	54.3ha	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)
遊休農地の解消と活用	農業委員会組織関係	担い手への農地利用の集積・集約化や耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入者の促進を図る。	集積率 30%	16,452,000		農業委員会	8月19日～9月30日まで農地パトロールを実施した。		
	農地中間管理事業の特別事業	農地の売買、賃貸借の調整を行い、認定農業者を中心とする担い手農家に農地の集積を図る。	売買8件	161,000		農業委員会	売買件数 12件		
	規模拡大農業者支援事業	認定農業者への農地の賃貸借に助成金を交付し、担い手農家の経営規模拡大を推進し経営の安定を図る。	集積率 30%	4,800,000		農業委員会	農業委員・推進委員が中心となって推進している。		
	中山間地域等直接支払推進事業	条件不利地域である中山間地域の農地を保全し、多面的機能を確保するため、直接支払い交付金を交付する。	農地保全面積 436ha	46,374,000		農林水産課	事業の中間年評価に係るアンケートの実施。実施状況の現地確認を実施。取組面積:435.9ha		
	担い手育成対策事業	今後の地域の農地を維持していくために、担い手の農地集積、青年就農交付金等の対象となるプランを作成する。 (農業士負担金・認定農業者協議会)補助金	農業生産法人数 16組	260,000		農林水産課	認定農業者協議会は、他町との交流やイベント参加などにより研鑽を重ねている。		
	しっかり守る農林基盤整備事業	町内の農林業生産基盤の整備を促進するため、機械借上げや原材料支給、施設補修工事などを実施する。	農林業生産基盤の維持	23,424,000		農林水産課	地元施工の維持修繕について、原材料等の助成を行った。また、水路以外の施設補修工事の発注を行った。		
	土地改良事業の推進	赤碕町土地改良区、東伯町土地改良区及び東伯地区土地改良区連合に対し、土地改良施設の維持・管理を行うための運営費助成を行う。	土地改良区等の運営の安定化	95,505,000		農林水産課	ダム等土地改良施設及び各改良区の運営に必要な助成を行った。		
	国営かんがい排水事業	琴浦町及び北栄町の畑地・水田地帯を整備した東伯地区国営施設及び県営畑かん施設管理の円滑な事業推進や農業水利施設が有する多面的機能の充実・啓発を推進する。	国営・県営水利施設の多面的機能発揮の支援	11,975,000		農林水産課	関係者会議の開催及び施設の多面的機能を発揮するため施設管理を行った。		

	多面的機能支払交付金事業	農地・農業用施設の保全管理や農村環境保全活動、農業用施設の長寿命化対策を実施する組織を支援するため、交付金を交付する。	農振農用地面積に対するカバー率 33.6%	80,832,000		農林水産課	新規で1広域活動組織が取組みを開始 取組面積:107ha		
	有害鳥獣対策事業	有害鳥獣捕獲奨励金の交付、電気柵の設置に対する助成を行い、鳥獣による農作物への被害を軽減する。	被害額 8,033千円	7,342,000		農林水産課	捕獲奨励金については、12末月までが奨励金の対象となる鳥獣があるため現在集計中。侵入防止柵の設置については、16件設置予定で、12件に対して執行済み。		
	耕作放棄地再生推進事業	耕作放棄地を再生し耕作地とするための作業を行う琴浦町農業再生協議会に対し補助金を交付する。	累計実施面積 35ha	1,772,000		農林水産課	2件実施中(倉坂1件、21a・法万1件、27a)		
	農地中間管理事業	農地の出し手、受け手との交渉や手続き等を行い、農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進める担い手への農地利用の集積・集約を推進する。	取組集落 2	25,719,000		農林水産課	中間管理事業により、48筆・6.7haの配分を行った。地域で集積に取り組む箇所はなかった。		
農林水産業への新規就業支援	農業後継者育成対策事業	新規就農者の負担軽減のため交付金を交付するなどの支援を行う。	新規就農者数30人	23,394,000		農林水産課	新規就農(親元):1名 次世代資金:7名 応援交付金:1名 親元交付金:8名 条件整備:1名		
IJターン者の就農支援(半農半X)				-		農林水産課 商工観光課	就農希望者の相談を受け		
農業生産法人化の推進	農業経営力向上支援事業	基本構想(基盤強化法)に則って、改善計画を作成し、認定農業者の審査後、認定農業者に承認を行う。	農業生産法人数 16組	42,000		農林水産課	6月に審査会を行い、更新6件・新規3件を認定した。		

(2) がんばる農家のチャレンジ支援

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
地域ブランド品の作付け面積(ブロッコリー、ミニトマト、芝)	550ha (H31)	530.6ha (H26)	542.1	
芝の作付け面積	310.0ha (H31)	306.0ha (H26)	300.4	
乳牛(経産牛)飼育頭数	2,250頭 (H31)	2,100頭 (H26)	2,105頭	
琴浦町における生乳生産量	21,000t (H31)	19,650t (H26)	21,056t	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)	
規模拡大農業者への支援	農業振興対策事業	意欲ある農業経営体の取り組みに対し支援を行い、地域農業の振興と活性化を図る。		44,229,000		農林水産課	がんばる農家:5件 園芸産地:2件 芝ブランド化:7名(8台の機械導入) 薬用作物:1件(桑) 環境保全型:1件			
	がんばる地域ブランド事業	農業を活性化することを主眼とした地域ブランドに基づき、地域農業の生産額拡大や担い手育成のための事業に対し補助金を交付するほか、ブランド化を推進するため物産フェアに参加する。	ミニトマト生産面積1,150a ブロッコリー栽培面積12,532a 新規就農者・農業後継者数 8人 他(H29年度目標)	23,145,000		農林水産課	・各種機械の導入(ミニトマト・ブロッコリー) ・各種フェアの開催(県内:イオンフェア、県外:ラブリーフエスタ参加)			
	野菜振興対策事業	市場での販売価格が大幅に下回った際に交付される価格差補給交付金の資金造成に対し助成する。	各生産部の販売額(ブロッコリー、ミニトマト、芝、梨) 2,045,000千円		44,870,467		農林水産課	特定野菜:価格安定し、支払なし ブランド野菜:価格安定し、支払なし 雪害復旧:11件分申請、復旧作業中		
	経営所得安定対策推進事業	経営所得安定対策等の円滑な実施を図るため、地域農業再生協議会が実施する活動に要する経費を助成する。			3,826,000		農林水産課	経営所得安定対策事業推進のため、概算払を2回払い、1,913千円を支出した。		
	農業体質強化基盤整備促進事業	農業者の経営規模拡大や農産物の高付加価値化、品質向上などに取り組むうえで支障となる農業生産基盤の改修や補修を行う。			27,200,000		農林水産課	工事請負3件、委託業務1件発注し、前払い4,730千円支出済み。残り委託業務1件を発注する。		
畜産クラスター事業・デリータウン構想の推進	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業	飼料自給率の向上、乳用牛増頭及び生乳増産に係る事業などを実施し、地域ぐるみでの酪農振興を図る。	町内酪農家2件(H33年度目標) ・増頭数 51頭 ・生産生乳量 546t増	68,569,000		農林水産課	畜産クラスター事業にて、施設整備、機械導入等実施した。今後増頭に伴い、生産生乳量増加予定。			
農業法人化の推進	人・農地問題解決加速化支援事業	今後の地域の農地を維持していくために、担い手の農地集積、青年就農交付金等の対象となる人・農地プランを作成する。更に集落営農の組織化や農業法人化を促進する。		472,000		農林水産課	関係機関で話し合いの進め方を協議。11月以降に地域での話し合いを行っていく。			
芝産地の活性化を目的とした生産機械の開発	芝収穫機開発・製作委託事業	生産性低下に関する緊急課題の解決策として、「芝収穫機開発・製作」に取組み、生産性の向上と作業能率の改善を目的として取組みます。	・作業姿勢の改善(負担軽減)			農林水産課	H28年度完成し、H29年度は完成機械を芝生産指導者連絡協議会へ貸付			

水産業振興対策	水産業振興対策事業	水産業の振興を図るため、赤碕町漁協が行う事業への支援や、養殖施設を新設する企業に対し支援を行う。	・漁協直販事業売上 267,750千円 ・加工事業 29,400千円	8,314,000		農林水産課	漁業研修事業:1件 がんばる漁業者:2件 アワビ・サザエ・キジハタ放流		
		水産養殖業の振興を図るため、町内へ進出する町内養殖業への支援を行う。 【地方創生推進交付金事業】			0		農林水産課	広報7月号 特集記事掲載 10月5日 落成式開催	
地どれ認定シールの作成助成						農林水産課	実施予定なし		
	各種農林融資資金利子補給事業	農業経営基盤強化資金等の農業制度資金借入者に対し利子補給を行い、負担軽減を図る。	繰上償還 2年	2,524,000		農林水産課	平成29年12月以降の申請受付を予定。		

重点項目2 地元産業の発展と新たな展開

(1) 琴浦ブランド化の推進と販路拡大

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
ことら商品の新規契約件数	5件(累計)	1件(H27)	2件	
和牛優良血統牛(白鵬85-3、百合白清2)町内保有頭数	10頭(H31)	2頭(H26)	97頭	
各生産部の販売額(ブロッコリー、ミニトマト、芝、梨)	2,100,000千円(H31)	2,030,116千円(H26)	2,113,390千円	
海外の新規契約件数	3件(累計)	(実績なし)	1件	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)
農林水産物の1次加工や6次産業化の推進	6次産業化	農山漁村の豊かな地域資源を活用して新たな付加価値を生む出す取り組みを進め、農林水産物等を活用した商品開発や加工販売、新たな販路開拓への取り組み(一次産業から三次産業へ)を支援する。	漁協直販事業売上 267,750千円 加工事業 29,400千円			農林水産課	もうかる6次化事業:1件実施中		
ことら商品の販路開拓	ことら商品販路開拓事業	関東圏でのことら商品の販路開拓を行う。	ことら商品の新規契約 1件	11,330,000		農林水産課 商工観光課	販路開拓コーディネータが東京に常駐し、販路開拓のための取り組み継続実施。9件の取引成立 9月1~2日に東京でのPRイベントを実施。新規1件の契約へと繋がった。		
町内事業者の販路開拓支援	海外への販路開拓支援事業	海外への販路拡大、販売促進を目的とした展示会、商談会等への支援。	利用者件数 3件	600,000		商工観光課	利用件数 1件 台湾の食品展示会にて、食を提供しアピール。取引へと繋がった。		
町内企業のブランド化推進						商工観光課	実施なし。改訂時に削除		
和牛ブランドの確立	畜産振興対策事業	和牛飼養者や酪農家に対し、増頭のための助成や、施設・機械整備等の助成を行い、畜産振興を推進する。	乳牛 3,270頭 肉用牛 5,700頭 生乳生産量: 20,275t	19,233,000		農林水産課	機械導入(酪農) 1件実施 増頭支援(繁殖和牛)実施中 品評会出品助成 実施中		
	和牛ブランド推進事業	本補助金は、肥育牛の導入を支援する事業を実施し、「百合白清2」及び「白鵬85の3」の種雄牛産子のうち高能力母牛から生産された産子の町内留保に努める。	和牛優良血統牛(白鵬85-3、百合白清2)町内保有頭数 10頭 (H31年度目標)	10,000,000		農林水産課	各セリ市場にて対象牛導入中。		
牛乳のまちことらのPR		町の農産物等を生かした観光商品を開発し、町をPRするもの。	新規販売先2件 (H31.2)			商工観光課 農林水産課	実施なし		
インターネット販売の支援						農林水産課 商工観光課	実施なし		

	果樹振興対策事業	梨、柿といった果樹のブランド化を目的とした新品種への新植・改植経費の助成等を行い、生産基盤を整備し所得向上を図る。		9,092,000		農林水産課	10月以降事業実施		
	きのこ王国鳥取推進事業	鳥取茸王の生産量を増加させるため、原木購入の支援や施設整備に対し助成を行う。	鳥取茸王及びとっとり115等のしいたけ栽培量280kg(目標平成30年度)	0		農林水産課	今年度は事業実施者がいないため、実施なし。		

重点項目3 魅力あるしごとの創出

(1) 企業誘致の推進と新たなしごとの創出

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
新規起業件数	9件(累計)	1件(H27)	1件	
町内事業所の従業員数	6,880 6,600人(H31)	6,810 6,535人(H26)	実績なし (次回経済センサス基礎調査H31)	
新規企業誘致件数	1件(累計)	(実績なし)	1件	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価 (3.2.1.0)
雇用促進奨励助成金の給付	雇用促進奨励事業	雇用の確保や地域産業活性化のため、町民を正規職員として雇用した事業主に対して奨励金を交付する。	-	18,900,000		商工観光課	利用件数23件		
町内企業の他業種転換に対する支援						商工観光課	実施なし。改訂に伴い削除予定。		
起業家への支援	IJUターン起業支援事業	町内において新たに起業する移住者に対して助成金を交付する。	-	1,000,000		商工観光課	今年度より移住者に対しての起業に変更。利用者なし		
企業誘致の推進	企業誘致推進事業	地域経済の活性化と雇用創出のため、企業訪問などを行い企業誘致を推進する。	1社	356,000		商工観光課	昨年度1件の企業誘致を達成。人手不足のため、企業誘致は一旦休止とし、町内企業の人材確保支援に方針転換		
大学を活用した就職支援	新規起業を目指す若者の支援事業	鳥取大学の学生の地元就職促進のためインターンシップを実施する。		0		農林水産課	実施なし。		
再生可能エネルギーの活用	林業振興対策事業	間伐搬出量の減少に歯止めをかけるため、間伐材搬出に対し助成を行う。	間伐搬出材積 3,000m3/年	6,249,000		農林水産課	搬出間伐見込み量の把握途中。		

(2)しごとを通した生きがいづくり

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
一般就労への移行者数	10名(累計)	(実績なし)	10人	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価 (3.2.1.0)
ワーキングコーディネーターの設置	自立相談支援事業	必要な支援を包括的な総合相談を実施し、生活保護に至る前の段階から早期に支援する。		5,502		福祉あんしん課	引きこもり対策、就労意欲なき者に対し継続的に支援を行っている。		
	被保護者就労支援事業	中部3町と県で就労支援員を共同設置し、被保護者に対し積極的に就労意欲を促し、就労する事により自立の助長につなげる。		5,502		福祉あんしん課	引きこもり対策、就労意欲なき者に対し継続的に支援を行っている。		
	就労準備支援事業	中部3町と県で就労準備支援員を共同設置し、相談支援体制を整え、必要な支援を包括的に行う。		974		福祉あんしん課	引きこもり対策、就労意欲なき者に対し継続的に支援を行っている。		
	被保護者就労準備支援事業	中部3町と県で就労準備支援員を共同設置し、相談支援体制を整え、必要な支援を包括的に行う。		393		福祉あんしん課	引きこもり対策、就労意欲なき者に対し継続的に支援を行っている。		
障がい者雇用の推進	障がいのある人の就労に向けた訓練(自立支援給付事業)	就労や生産活動の機会を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練の場を提供する。		137,805,336		福祉あんしん課	83名が利用中。就労継続支援の福祉サービスを利用することにより、生活リズムを作り、一般就労に向け訓練を行っている。		
高齢者への就労支援	老人福祉事業	高齢者の意欲や能力に応じた雇用の機会その他多様な就業機会を確保するため、シルバー人材センターに対し補助金を交付する。		5,300,000		福祉あんしん課	3,000,000円補助金交付		

平成29年度琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる事業進捗状況一覧(9月末現在)

基本テーマ3 コトウラで輝く ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり

基本テーマごとの成果目標

	H28年度実績	H29年度実績
観光入込客数	92万7千人/年	65万2千人
地域課題解決のための活動数	150回/年	154回/年

重点項目1 豊かな自然と文化を生かした観光振興

(1)自然・歴史・文化の継承と地域資源の活用

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
新たな観光商品の開発件数	3件(累計)	(実績なし)	1件	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)
地域伝統の継承に対する支援	町内文化財保護事業	町内の貴重な文化財の保存・保護及び活用を推進する。	無形民俗文化財保存団体活動回数6回。	60,000		社会教育課	無形民俗文化財保存団体(3団体)補助事業実施中。		
町内文化的財産を活用した観光振興	町内文化財保護事業	町内の貴重な文化財の保存・保護及び活用を推進する。	国指定重要文化財「河本家住宅」見学者人数1650人。	4,419,000		社会教育課	維持管理事業等を実施中。文化財所有者、保存団体活用事業実施中。		
	民俗資料館管理事業	文化財の大切さを知り、後世に伝えていくため、民俗資料館の管理運営を行う。	来館者数 1,000人	717,000		社会教育課	町外小学校1校来館。民俗資料体験・見学実施。		
	町内遺跡発掘調査事業	各種開発事業に伴い、遺跡の試掘調査を実施して開発事業と文化財保護との調整を行う。	遺跡の有無等を確認して文化財保護を行う。1件。	2,027,000		社会教育課	6月～8月にかけて松ヶ丘所在遺跡の試掘調査を実施。		
	大高野遺跡保存・活用推進事業	国史跡指定された大高野遺跡について、隣接する特別史跡斎尾磨寺跡や周辺文化財を含め、町内文化財産の保存と活用に向けた計画の策定を行う。	保存活用計画策定。1件。	5,183,000		社会教育課	第6・7回検討委員会を実施。		
	赤崎台場跡保存・活用推進事業	3町連携事業として鳥取県中部で「史跡鳥取藩台場跡」を有する北栄町・湯梨浜町と共に講演会を企画し、台場の普及活動を行う。	講演会の来場者数100人。	50,000		社会教育課	未実施。		
町の食材を生かした伝統料理発掘及び活用	各地区公民館料理教室等	町の食材を生かした伝統料理の発掘や活用を行い、伝統文化継承等に資する。	-	140,000		社会教育課 子育て健康課	地区、部落等で「郷土料理・行事食」を活用した講習会を実施する。 ・栄養講座 7回 ・よい食生活講習会 3回		
ことうらの海と町魚「アゴ」の活用	ことうら観光商品開発プロジェクト	町の農産物等を生かした観光商品を開発し、町をPRするもの。	新規販売先2件(H31.2)	0		農林水産課 商工観光課	道の駅「琴の浦」でアゲアゲ串を販売。		

(2) 観光振興による交流人口の増加

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
年間観光入込客数	92万7千人(H31)	71万3千人(H26)	65万2千人	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)
特急列車停車促進と観光総合窓口の設置	道の駅琴の浦管理運営	観光窓口を物産館ことうらへ移設	-	9,784,368		商工観光課	4月29日道の駅「琴の浦」がオープンし、観光総合窓口を設置し、町観光協会を移転した。		
物産館ことうらの周辺整備	物産館ことうら管理運営 変更後 道の駅琴の浦管理運営	観光振興により交流人口を増やすため、琴浦町の観光拠点のひとつである物産館ことうらの運営管理を行う。	・町観光入込客数 78万6千人	同上		商工観光課	同上		
アーチェリーによるまちづくり	琴浦でアーチェリー推進事業	アーチェリー競技の浸透を図るとともに健康・体力づくりのため、講師を招き教室を開催する。	・アーチェリー競技人口増 ・グループ育成			社会教育課	今年度の事業実施はないが、今後に向けて検討していく。		
交流人口の増加	観光振興事業	琴浦町観光ビジョンに基づき、食のブランド化などの事業推進を行うほか、鳴り石の浜にトイレを整備し、観光客の利便性を図る。	・町観光入込客数 78万6千人	18,977,000		商工観光課	鳴り石の浜トイレの維持管理など各種事業を展開し、観光振興を図っている。		

(3) 広域観光の推進

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
鳥取県中部圏域観光入込客数	260万人(H31)	210万7千人(H25)	345万2千人(H28)	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)
鳥取中部ふるさと広域連合を中心とした広域観光の推進	インバウンドを核とした広域観光連携事業	一般社団法人鳥取中部観光推進機構への負担により以下の事業の企画および実施 ・おもてなし・受入環境整備事業 ・情報発信事業 ・鳥取県中部圏域版DMO整備実践事業 他	県中部観光入込客数 243万人			商工観光課	広域観光連携事業を実施中(負担金による)		
アジアトレイルズカンファレンスの共催	アジアトレイルズカンファレンス	平成27年度に実施済み。(平成28年度はWTCとして開催)	県中部観光入込客数 243万人			商工観光課	27年度実施済み		
ワールドトレイルズカンファレンスの共催	WTC(ワールドトレイルズカンファレンス)鳥取大会	WTC鳥取大会の共催 開催期間:10/14~10/16	県中部観光入込客数 243万人			商工観光課	28年度実施済み		
名探偵コナンミステリーツアーの共催	インバウンド版名探偵コナン鳥取ミステリーツアー	インバウンド版名探偵コナン鳥取ミステリーツアーの共催 開催時期:4月1日~2月28日 対象国:台湾 韓国 香港 タイ	県中部観光入込客数 243万人			商工観光課	28年度実施済み		

重点項目2 女性が輝き、活力を生むまち

(1)ワーク・ライフ・バランスの推進と女性の活躍促進

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
男女共同参画推進企業数	20企業(H31)	14企業(H26)	22企業	
自治会役員における女性の割合	40%(H31)	20.5%(H27)	20.4%	
男性の育児休業取得による奨励金対象者数	30人(累計)	(実績なし)	3人	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)
男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの推進	琴浦町男女共同参画審議会運営費	男女共同参画第3次プラン策定にあたり、審議会を開催する。	・自治会役員における女性の割合 25% ・男女共同参画推進認定企業数 20企業	104,000		企画情報課	5月18日 第1回男女共同参画審議会を開催し、第3次プラン案を作成した。 9月22日 第2回男女共同参画審議会を開催し、第3次プラン案について検討した。		
	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会の実現に向けて、講演会等各種啓発事業を展開する。	認知度 60%以上 ・夫は外で働き妻は家庭を守るべきであるという考えに反対の割合	402,000		社会教育課	男女共同参画週間にTCCミニドラマ再放送等のPRを、また8月10日に絵本の読み聞かせとジェンダーに関する講演会を開催した。		
輝く女性の広報及びPR	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会の実現に向けて、講演会等各種啓発事業を展開する。	認知度 60%以上 ・夫は外で働き妻は家庭を守るべきであるという考えに反対の割合	402,000		社会教育課	男女共同参画週間にTCCミニドラマ再放送を行い、ワーク・ライフ・バランス、イクボス等、女性活躍推進に関連した事項のPRに努めた。		
育児休業取得奨励金の交付	商工業の振興(再掲)	ワーク・ライフ・バランスを推進するため、育児休業を取得する社員が属する企業へ補助金を交付する。	利用件数(累計)25件	2,550,000		商工観光課	利用件数 5件		

重点項目3 協働によるまちづくり

(1) まちづくり団体等への支援による地域活性化の推進

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
地域おこし協力隊の定住人数	3人(5年間累計)	(実績なし)	0人	
地域活性化団体の課題解決に向けた取り組み事業数	20回(H31)	(実績なし)	6件	
自治会による地域振興事業実施回数	130回(累計)	(実績なし)	154回	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)
まちづくり団体への支援	町内地域づくり団体の連携	町内地域活性化団体の連携を目的に設立された「琴浦まちづくりネットワーク」の活動を発展させるため、27年度に同団体が策定したまちネットアクションプラン&プロポーザルプランの実現に向けた活動に要する経費に対し補助金を交付する。	まちネットでの協働事業実施 1件	2,050,000		企画情報課	琴浦まちづくりネットワークへ「まちネットプラン」の実践と協働のまちづくりに向けた事業を委託するとともに、事務局運営費に対し補助を行っている。		
青年組織連絡協議会の設置		事業実施予定なし (昨年度、商工会・農業青年会議・青年会議所等による自発的な動きが見られ、その動きを見守りつつ必要な支援があれば検討する)		-		企画情報課 社会教育課	-		
地域おこし協力隊の活動推進	地域おこし協力隊員活動事業	総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、隊員の意欲や能力を生かした新しい発想の地域おこし策や、移住定住による地域活性化・地位気力の維持・強化を図る。	地域おこし協力隊による29年度中の起業1件	20,144,000		企画情報課	3名の隊員が活動中。また1名が9月末で任期満了。退任後起業し、SISICREAM事業などを行っている。また、5月にチャレンジマスター店舗「鳥の巣」をオープンした。		
自治会活動の推進	部落自治振興費補助	町政推進の基礎である部落自治振興を図るため、活動費等に対し助成するほか、地域コミュニティ施設としての機能を強化するため、バリアフリー化するための改修工事費の一部を助成する。	10箇所の公民館改修	19,240,000		総務課	自治公民館のバリアフリー支援補助金、現在6件申請4件交付済み		
	コミュニティ助成事業	地域のコミュニティ活動の充実・強化を図るため、財団法人自治総合センターの宝くじの収益金を財源として、自治会等へ補助金を交付する。		6,800,000		総務課	3件採択:上三本杉(備品)1,000千円・浦安9区(備品)1,200千円・八橋1区4,600(公民館)千円		
地域におけるまちづくり活動の推進	輝く地域づくり事業	地域で組織する団体等が、自らその暮らす地域を考え地域課題の把握やその解決等に向けて取り組み、自らの手で活力ある地域を築いていこうとする活動を支援する。	将来的な地域協議会の拠点地区 5地区	1,000,000		企画情報課	輝く地域づくり事業補助金の募集を実施。1団体申請、交付決定済み。過去申請団体に対し、研修講師代の支援を新規に実施。H29.9時点で申請なし。		

重点項目4 ふるさとを支えるひとづくり

(1)地元リーダー育成の推進

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
ふるさと創生塾生数	60人/年(H31)	(実績なし)	実績なし (H29開塾予定)	

[評価]3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価 (3.2.1.0)
ふるさと創生塾の設置	ふるさと創生塾	自分の町を誇りに思い、将来の町のリーダーとなる人材を発掘、育成するため、小中学生を対象とした講座を実施する「ふるさと創生塾事業」を平成29年度から開催できるよう、講師、内容等について検討を行う。	H29の開塾にむけた準備完了	855,000		企画情報課	「琴浦こども塾」として8月19日に開塾。塾生10人。毎月第1・3土曜日に実施中。		
	成人式の開催(式典事業)	将来のまちの担い手となる新成人を招き成人式を挙行し祝福する。あわせて、同級生との再会や家族への感謝などを通し郷土愛を高める。	成人を祝う	1,282,000		総務課	平成30年1月3日に実施予定		
	青年組織連絡協議会の支援	事業実施予定なし (昨年度、商工会・農業青年会議・青年会議所等による自発的な動きが見られ、その動きを見守りつつ必要な支援があれば検討する)		-		企画情報課 社会教育課			

(2)青少年が主役のまちづくり支援

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
子ども会リーダー研修参加率	70%(H31)	35%(H26)	35%	
中高生サークルの設置数	1団体(H31)	(実績なし)	0	

[評価]3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価 (3.2.1.0)
子どもたちが主体となった活動の推進	モデル子ども会(再掲)	子どもの手による子ども会の推進を図るため、「モデル子ども会」として、2単位子ども会を募集、活動経費の助成と支援者派遣、活動実績のPRを行い、他の模範とする。	将来琴浦町へ住みたい中学生の割合 60%	40,000		社会教育課	逢束1・2・3区子ども会、八橋1区子ども会、ガーデンヒルズ子ども会が申込み。子ども主体による企画会議を実施、イベントを企画・実行した。		
ジュニアリーダーの育成	ジュニアリーダー活動	県子ども会育成連絡協議会や全国子ども会連合会が主催される、ジュニアリーダーの研修会への参加推進を図ることや、仲間作りを第一目標に、サークル構成員自主企画による活動を展開する。	将来琴浦町へ住みたい中学生の割合 60%	79,000		社会教育課	小学5・6年生、中学生を対象に活動参加者を募集した。現在登録者1名。料理作りを通しての仲間作りや地域の子どもの会へのアドバイザーとしての派遣、ジュニアリーダー研修会への参加、まなタン祭りのイベントへの参画など。		
船上山少年自然の家を活用した宿泊体験及び合宿誘致	子ども会	子ども会の研修会(3月)でPRする。	PRを行い、利用促進を図る。	0		社会教育課	未実施		

平成29年度琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる事業進捗状況一覧(9月末現在)

基本テーマ4 コトウラに根づく だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり

基本テーマごとの成果目標

	H28年度実績	H29年度実績
社会移動による人口減少数	200人(累計)	107人(累計)
健康寿命の延伸	1.0歳延伸 (H27とH31の比較)	0.12歳

重点項目1 移住・定住希望者のIJUターン支援

(1)コトウラ体験等による移住・定住促進

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
移住定住ツアー参加者の移住定住者数	移住定住コース:10人 就農体験コース:5人 (いずれも累計)	(実績なし)	0人 (中部地震により中止)	
人口の社会増減数	200人 (H27 H31累計)	272人 (H22 H26累計)	107人 (H27~H28累計)	

[評価]3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価 (3.2.1.0)
移住定住に向けたコトウラ暮らし体験ツアーの実施	移住定住促進事業	都市圏の移住定住希望者を対象に移住定住ツアーを開催する。		900,000		農林水産課 商工観光課	10月28、29日の開催に向け、大阪日日新聞広告や町ホームページなどで参加者を募集。		
移住定住アドバイザーの設置	移住定住促進事業	移住希望者・定住者の相談などに対応する。	IJUターン 120人/年	2,222,000		商工観光課	9月の採用を目指し募集したが、応募なし		
コトウラ暮らしお試し滞在住宅の活用	コトウラ暮らしお試し滞在住宅事業	県外から本町への移住を検討されている方へ、本町での生活を体験できるお試し住宅を提供し、移住定住の促進を図る。	IJUターン 120人/年			商工観光課	お試し住宅利用者1組3名		
Uターン促進を目的とした25歳を対象とする同窓会の開催支援	第二成人式事業	25歳の町出身者・在住者を対象とした第2成人式を開催することにより、同級生との絆の確認や地域社会の繋がりを強化し、Uターンの促進を図る。	参加者161人	500,000		企画情報課	1月2日に開催を予定し、実行委員会で協議中 第1回:7/26、第2回:8/16 第3回:8/29、第4回:9/26 出席予定:5人(9月末時点)		
町出身者に対する情報提供	交流ネットワーク事業	琴浦会交流会を開催し、情報交換を行い、町の発展、活性化に寄与する。また、毎月、町報と同時に移住定住相談会などの情報提供を行っている				商工観光課	4月8日東日本交流会を実施。毎月、事務局より送付。11月26日に西日本交流会を予定		
Uターン者を対象とした奨学金返還の助成						商工観光課	実施しない(県が実施済み)		
琴浦町のよさを題材とした写真コンテストの開催	「いいね!ことうら」発見事業	若者の流出に歯止めをかけ、また、Uターンを促進するため、写真コンテストを開催し新たな魅力発見の機会とする。				企画情報課	毎月の町広報紙の裏表紙にて、ことうらスナップとして写真を取り上げ、PRを行った。		
琴浦町のイメージアップPR	琴浦イメージアップPR事業	27年度に作成したPR動画を活用し、町のPRを行う。	動画再生回数3,000回	-	-	商工観光課	未実施 フェイスブック開設等、機会をみて動画を使用していきたい。		

(2) 空き家の活用や宅地にかかる移住・定住促進

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
空き家ナビ登録件数	60件(H31)	30件(H27)	20件	
空き家を活用した移住定住件数	25件(累計)	5件(H27まで実績)	5件	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)
きらりタウン赤碕・槻下団地分譲地購入者に対する助成	きらりタウン・槻下団地定住促進事業	きらりタウンあかさき及び槻下住宅団地の販売促進、定住化を促進するため、紹介者礼金や定住促進奨励金を交付する。	5区画/年の販売	6,150,000		商工観光課 総務課	きらりタウン 3件 槻下住宅 2件		
定期借地権の設置	定期借地権設定事業	きらりタウンあかさき及び槻下住宅団地の分譲地に定期借地権を設定し、販売の促進と人口増、定住化を図る。	9区画/年の定借契約	27,928,000		総務課	現在2区画の契約済み、2区画協議中		
空き家の利活用	移住定住促進事業	空き家ナビ等を活用し空き家の利活用を図る。		5,102,000		商工観光課	契約成立7件		
宅地情報の提供	きらりタウン・槻下団地定住促進事業	移住定住相談会などにおいて、きらりタウン・槻下団地のPRを行っている。				商工観光課	県外相談会に参加 ・東京1回 ・大阪3回		
	移住定住促進事業(空き家ナビを軸として、各種移住定住相談、事業を推進)	琴浦町へのIJUターン希望者に対し、相談会の開催、空き家リフォーム助成を交付し、人口増加と定住の促進を図る	IJUターン 120人/年			商工観光課	空き家を活用した町外移住者 2組9名		
新築・中古住宅の固定資産税減免措置	新築・中古住宅の固定資産税減免	町外から転入した者が購入した中古住宅又は新築された住宅について固定資産税を減免する。	-	-	-	税務課	74件(減免額3,495,400円)	対象となる住宅は全て減免対象とした。	3
新婚家庭への家賃助成	新婚家庭支援事業	新婚世帯に対し家賃助成を行うことで、結婚当初の負担軽減を図り、若年層の人口増加を目指す。	新規事業実施者 10組	4,380,000		企画情報課	新規申請数:3件 継続件数:14件		
	結婚新生活支援事業	経済的理由で結婚に踏み出せない低所得者を対象として家賃助成を行うことで、結婚を推進する。	新規事業実施者 3組	720,000		企画情報課	広報紙やHP等で周知しているが、要件に合致しないため、申請なし。		

(3)地域の拠点の整備促進

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
地域協議会の拠点地区数	5地区(H31)	2地区(H26)	3地区	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価 (3.2.1.0)
地域の拠点整備促進	(自治センター設立事業)	地区公民館を基本単位として、地域住民自ら地域づくりを実践する体制の整備を目指す。	モデル地区設定 3地区			総務課 企画情報課 社会教育課	現時点では実施なし 以西・古布庄・安田地区などの地区協議会の動きを見守りながら、今後の対応を検討する。		
	公民館活動事業	地域の拠点となる各地区公民館での各種教育活動を展開し、住民自ら文化的教養を高める環境醸成を推進する。	・利用者減少率が人口減少率を下回る状態の維持 ・自主運営サークル42団体	46,045,000		社会教育課	つどう・まなぶ・むすぶを合言葉に、地域課題の解決などに関連した地域密着型の学習事業を展開、教室自主運営かなどを通して住民自らが学習を推進する機運を醸成を進めた。		
コンパクトビレッジ構想						企画情報課	「小さな拠点」事業として取り組むこととし、現在動きがある4地域に対し、情報提供や助言等の支援を実施。 (古布庄地区、以西地区、安田地区、上郷地区)		
コトウラCCRC構想の検討						福祉あんしん課 企画情報課	琴浦町としては取り組む方向ではないため、総合戦略改訂時に外す。		

重点項目2 健康寿命日本一を目指すまちづくり

(1)健康に生きるまちづくり

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
健康診断結果の有所見者数割合	高血糖:14% 高血圧:29% 肥満:14% (いずれもH31)	高血糖:16.4% 高血圧:31.6% 肥満:19.8% (いずれもH26)	高血糖:5.7% 高血圧:36.2% 肥満:21.1% (いずれもH28)	
1日1時間以上歩行・運動実施者の割合	35% (H31)	健診問診結果 協会けんぽ加入者: 24.2% 国保加入者:19.3% (H25)	健診問診結果 協会けんぽ加入者:-% (H27) 国保加入者:16.3% (H28) H27:19.3%	
新わくわくことら体操を毎日する人の割合	20% (H31)	(実績なし)	実績なし(H29に介護予防・日常生活圏域二一ズ調査で把握予定)	
高齢者クラブの加入率	36% (H31)	26% (H27)	25.7%	
75歳以上の介護認定率	23.5% (H31)	28.5% (H27)	27.1%	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価(3.2.1.0)
健康づくり施設の整備	ことら健康寿命延伸活動	東伯総合公園トレーニングルームをリニューアルし、町民の健康寿命延伸に資する。	・運動習慣定着 ・健康寿命延伸	5,186,000		社会教育課	トレッドミル2台、エアロバイク1台を購入した。町民トレーナー養成講座(第1期)を開催し3名が受講		
	ことら健康寿命延伸活動	東伯総合公園に子ども遊具と健康遊具を設置し、健康づくり及び子どもと高齢者の交流促進を図る。また、冒険遊び場の設置により遊びきる子どもの育成を図る。	・子ども遊具と健康遊具の活用促進	30,500,000		社会教育課 子育て健康課 福祉あんしん課	東伯総合公園内への遊具設置に向け、遊具選定委員会を開催し、4社によるプロポーザル方式で選考を行った。		
ウォーキングの推進	運動習慣定着推進事業	ウォーキングの推進及び町民の運動習慣の定着を図る。	・町民の健康づくり推進 ・指導者資質向上	469,000		社会教育課 子育て健康課 福祉あんしん課	琴浦町ウォーキングマップ3,000部作成。6月17日ウォーキングステーション認定記念大会開催。「元気に歩こう琴浦を！」4回開催。		
認知症予防の推進	介護予防教室	閉じこもり、もの忘れ傾向のある高齢者を対象にもの忘れ予防活動やレクリエーション活動を実施。	介護予防教室 延べ250人	13,080,000		福祉あんしん課	定例的に各会場で実施し、もの忘れ予防活動やレクリエーション活動を実施。参加者数延べ2,759人		
	もの忘れ相談	本人及び家族の認知症に対する相談に認知症専門医が個別に相談に応じる。また、ひらめきはつつ教室及び町集団健診時におけるタッチパネル検査において、2次検査対象者となった方の相談にも応じ、早期予防・医療に繋げる。	2次検査対象者の受診率・及び予防教室参加率2割以上	160,000		福祉あんしん課	5・7・9月に実施し15名(14.2%)の受診者があり、その内6名が医療機関紹介となった。		

	認知症フォーラム	認知症に対する偏見を取り除き、理解を深める。認知症カフェ等の体験発表と講演など。	フォーラム参加者 200人	212,000		福祉あんしん課	10月29日に認知症予防学校を開催し、公開講座としてサポーター養成講座と浦上先生による講演会を開催した。		
	総合相談事業	認知症対策委員会を年1回開催し、地域の関係機関とネットワークを構築するとともに認知症対策の方向性を検討する。	地域包括ケア会議の中で認知症についても検討。年1回開催。	30,000		福祉あんしん課	1月開催予定。		
ライフステージに応じた介護予防	若い世代の健康づくり対策【加速化交付金事業】2事業を統合して掲載	若い世代からの健康づくり活動を支援し、健康で高齢期を迎えるための土台づくりを行う。	運動習慣定着 健康寿命延伸	1,395,000		子育て健康課	ポイントラリー商品券交付人数357人、健康づくり活動参加者155人、ドック費用助成5人		
	ハワ-リハビリテーション事業	専門スタッフによる指導のもと、高齢者専用マシ-ンを使用してリハビリテーションを行う。	年間利用人数 1300人	3,920,000		福祉あんしん課	全6クール中1・2期生が終了。8月から3期生・9月から4期生がリハビリ利用中。利用延人数648人。		
	ちょこっとリハビリ	デイサービスセンター等で、リハビリ器具等を用い、気軽にリハビリに取り組み、元気な高齢者の生活の維持を図る。	年間利用人数 240人	1,296,000		福祉あんしん課	全3クール中1期生が終了。9月から2期生がリハビリ利用中。利用延人数276人。		
	老人福祉事業(再掲) 高齢者クラブ	地域で友愛訪問や美化活動、健康講座やスポーツなどを行い、家に閉じこもらず自らの経験と知識を生かして活動する、高齢者の自主的な組織活動を支援するため、高齢者クラブに対し補助金を交付する。	高齢者クラブ 38	3,366,600		福祉あんしん課	6月：単位高齢者クラブに1,225,600円補助金交付 高齢者クラブ連合会へ1,071,000円補助金交付		
	介護予防サークル支援事業	気の合う仲間や同じ趣味仲間て活動するサークルに対し、元気な高齢者が要介護状態にならないよう、サークル活動に対して助成を行う。(1ヶ月2,000円)	サークル数 80	2,700,000		福祉あんしん課	92サークル、1,287人が活動中。活動条件を満たしたサークルに対し、4~7月分の活動助成を行った。		
	寿大学	高齢者が自ら意識を持って生きがいを見出せるよう、各種講座を実施し、生きがいづくり、仲間づくりを実現する。	専門コース登録者数の増加 110名	81,000		社会教育課	月1回実施(合計3回)。累計参加者数193名。専門コース登録者数106人		
食を通じた健康づくり	食生活改善推進事業	よい食習慣の定着を推進するため、町民に対し、食育啓発事業を実施する。	バランスのよい食事を心がけている人の割合 82%	623,000		子育て健康課	栄養講座 8回 おやつ教室 0回 こどもクッキング 1回 よい食生活講習会 7回 朝ごはん運動 7回		
	老人福祉事業(再掲) シルバー人材センター	高齢者の意欲や能力に応じた雇用の機会その他多様な就業機会を確保するため、シルバー人材センターに対し補助金を交付する。	シルバー人材センター 会員数165人	5,300,000		福祉あんしん課	3,300,000円補助金交付		
	高齢者支援サービス事業 買物支援員派遣事業	日常生活で必要な食料品や日用雑貨等の買物が困難な高齢者に、日常的な買物を代行する者(買物支援員)を派遣します。	利用延人数 40人	480,000		福祉あんしん課	登録者：3人 延べ利用人数：63人		
	一般管理(健康増進計画推進)	よい生活習慣の定着、健康増進の推進を図り町民の健康寿命延伸と生活の質向上を目的に策定した健康ことうら計画の効果的な推進を図るほか、休日の救急医療体制の充実を図る。	年3回の進捗状況確認	5,261,000		子育て健康課	第3期健康ことうら計画の策定に向け健康づくり推進委員会を開催(4回計画のうち1回開催：9月28日) 年間を通じ休日急患病院輪番を中部医師会て実施		

	精神保健福祉事業	自死対策事業を実施し、精神保健福祉に対する理解と意識の高揚を図る。	自殺死亡率の減少	38,000		子育て健康課	自死者数2名(8月末時点)、全員40～50代の男性		
	健康教育	生活習慣病を予防することを目的に健康教室や講演会を実施し、町民の健康づくりを推進する。	部落健康教室 25回/年	480,000		子育て健康課	部落健康教室 9回		
	健康相談	生活習慣病予防のため、定期的に健康相談を開催し、健康に対する不安の軽減や健康管理及び健康増進を図る。	健康相談回数 40回/年	42,000		子育て健康課	健康相談回数 18回		
	健康診査	各種がん検診を中心に、基本健診等を実施し、早期発見・早期治療で医療費の削減を図るとともに、健康づくりの推進を図る。	各種がん検診受診率5%増	40,090		子育て健康課	集団セット検診:18回のうち、15回実施。医療機関委託検診:国保特定健診・後期高齢者健診は12月まで、がん検診は2月末まで実施。		
	訪問指導	検診結果を基に保健指導が必要となる方を訪問し、必要な指導を行う。	訪問指導実施者の紹介状返却率 42.4%	316,000		子育て健康課	1月～開始予定		
	救急医療対応事業	心配停止状態及び生命に危険が及び状態の場合に、医師が救急車に同乗し救急医療を行う体制を整備する。	ドクターヘリ導入に伴い事業見直す予定			子育て健康課	廃止		
	まちの保健室事業	地域住民が主体的組織的に健康づくり活動を行うことができるよう、情報提供と実践の場を提供し、地域の健康づくりを推進する。	モデル地区実施 1地区	158,000		子育て健康課	モデル地区実施 1地区 教室2回実施、 事業説明会1回実施		
	社会体育指導及び推進(再掲)	心身とも健康で明るいまちづくりのため、スポーツ推進委員の活動を支援する。	・町民の健康づくり生涯スポーツ推進 ・スポ推派遣指導20回	1,964,000		社会教育課	中国地区スポーツ推進委員研修会(岩国市)に4名を派遣した。		
	郡・県・全国体育大会選手派遣	東伯郡民体育大会、県スポーツレクリエーション祭、全国大会へ参加する町代表選手の参加補助を行う。	郡体男女総合優勝	5,193,000		社会教育課	7月に郡民体育大会開催し2年連続男女総合優勝。国際大会に3名出場。		
	町体育協会育成及び各部奨励	体育協会各部主催事業を助成し、より一層のスポーツ振興を図る。	各種教室・大会参加者増	2,405,000		社会教育課	体育協会19事業開催		

(2)安心・安全で暮らせるまちづくり

KPI	目標値	基準値	H28年度実績	H29年度実績
自主防災組織結成数	50% (H31)	20% (H26)	26.6%	
安心・安全に暮らせるまちであると 感じる人の割合	80% (H31)	(実績なし)	86%	

【評価】3:おおむね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった 0:実施できなかった

具体的な取り組み	項目(取組の名称等)	事業内容	数値目標・KPI	事業費(円)	決算見込額(円)	担当課	9月末時点の実施状況	担当課の評価	評価 (3.2.1.0)
公共交通ネットワークの整備	公共交通対策事業	町内バス路線・デマンド型乗合タクシー及び広域バス路線の運行により生活路線の維持確保を図る。	町内公共交通網羅率100%を維持	58,919,756		商工観光課	楯下中村部落をタクシー利用助成事業の対象地域に追加し、町内公共交通ネットワークを維持している。		
	地域防災力向上事業	各地域で防災訓練を開催するほか、防災組織結成を促進し、地域防災力の強化を図る。	・結成組織数の増20組織 ・組織率 33.1%	800,000		総務課	今年度5組織増加 組織率29.8% 現在結成に向け5組織と協議中		
中山間地域の活性化	みんなで支え合う中山間地域総合支援事業	中山間地域の買い物弱者を支援するため、東伯けんこうが行う移動販売者運営経費の一部を助成する。	・新規申請 1件	312,000		企画情報課	東伯けんこうがボラの移動売車を引き継ぎ、新規申請。10月から本格始動。		
	集落支援員活動事業	中山間地域の現状や課題を把握し、その解決に向けた地域での話し合いを進め、行政と連携した取組みを行う集落支援員を配置する。	集落支援員による地域協議の開催 3地区	5,252,000	4,519,000	企画情報課	古布庄地区、以西地区に集落支援員を設置し、それぞれの地域の実情にそって、活動を行っている。		
多世代交流の推進	高齢者と児童・生徒の交流事業	キッズサポーター養成講座を要望のあった小中学校で実施し、講座で認知症について学んだ後、介護予防教室「はればれ」の参加者との交流を通して学びを深める。	町内5小学校中、2校で実施。	20,000		福祉あんしん課	琴の裏高等支援学校2年生16名を対象に実施。		
図書館を活用した情報発信	図書館活動費	行政情報コーナーを設置し、来館者がいつでも行政情報が閲覧できるようにする。	利用者減少率が人口減少率を下回る状態の維持	2,000		社会教育課	行政内の新たな情報を常に掲示して、来館者が閲覧できるようにした。		
人権意識の向上	人権・同和教育推進事業(事務費)	人権・同和教育推進協議会及び地区人権・同和教育推進研究協議会に対し委託を行い、人権・同和教育の推進を図る。	小地域懇談会の全地域実施	3,922,000		人権・同和教育課	今年度の懇談会は赤碓中学校区は11月から開始、東伯中学校区については年明けより開始予定。		
	部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする啓発	「第2次琴浦町あらゆる差別をなくする総合計画」に基づき、各施策について総合的・計画的な推進を図る。	「人権・同和教育に関する意識調査」における人権のイメージについての設問で、「自分に関係が深いと思う」の回答割合(H31 48%)	57,000		人権・同和教育課	計画に基づき各施策と事業の実施状況については、町あらゆる差別なくする施策推進プロジェクトチーム会議(12月～2月)を開催し取りまとめ及び成果と課題の検証を行う。その結果について町あらゆる差別をなくする審議会(3月)で報告・点検を行う。		

人権教育推進員設置事業	人権・同和教育の推進を図るため、各種講演会や研修会の企画、学校や企業などの学習支援を行い、人権・同和教育学習の充実を図る。		4,664,000		人権・同和教育課	今年度は人権教育推進員が1名配置され、学校等での人権・同和教育学習支援等を行っている。		
東伯児童館運営	児童が心身ともに健やかに成長するために、安心安全に遊べる居場所づくりや遊びを提供するほか地域組織活動の育成を支援し保護者の交流の場を提供する。	児童館行事等の参加者満足度 60%以上	2,628,000		人権・同和教育課	じどうかんまつり 6月3日 参加者183人 児童館活動 8月1日 スライムであそぼう 参加者69人 9月30日 プラバン工作 参加者27人 さっちゃんのやさしいおりがみ 5月6日 参加者11人 6月3日 参加者 8人 7月1日 参加者15人 9月9日 参加者24人 乳幼児教室 おやこでふれあうえほんのひろば 5月20日 参加者32人 7月 1日 参加者60人		
赤碓児童館運営	児童が心身ともに健やかに成長するために、安心安全に遊べる居場所づくりや遊びを提供するほか地域組織活動の育成を支援し保護者の交流の場を提供する。	赤碓小学校区の参加割合が10%以上	2,200,000		人権・同和教育課	じどうかんまつり 9月24日 参加者 187人 児童館活動 5月1日、2日 みんなで遊ぼう 参加者 18人 6月3日 とうはく児童館まつりに参加しよう 参加者 12人 7月1日 スノードームを作るう 参加者 21人 8月12日 バス遠足(燕趙園) 参加者 13人		
同和対策総務費	人権・同和行政の確立に向け、各種集会に参加するとともに、同和問題講演会を開催するなど、同和問題解決のための啓発活動を行う。	同和問題講演会のアンケート満足度 70%	2,561,000		人権・同和教育課	12月4日(月)に同和問題講演会を開催予定		
東伯隣保館運営費	部落解放及びあらゆる差別の解決・地域福祉の向上・人権啓発のための住民交流の拠点として、また住民の身近な相談窓口として、人権・同和問題の速やかな解決に資するための事業を行う。	研修会等でのアンケートによる参加者の満足度 70%以上	6,054,000		人権・同和教育課	同和問題懇談会 実施日 5月31日 テーマ「発達障がいについて」 講師 森 泉さん 参加者 107人 実施日 6月21日 テーマ「部落差別推進法」 講師 下吉 真二さん 参加者 52人 実施日 9月20日 テーマ「避難所運営ゲーム」 講師 安谷 潔美さん 山田 愛子さん 参加者 33人		

	赤碓隣保館運営費	部落解放及びあらゆる差別の解決・地域福祉の向上・人権啓発のための住民交流の拠点として、また住民の身近な相談窓口として、人権・同和問題の速やかな解決に資するための事業を行う。	研修会等でのアンケートによる参加者の満足度 70%以上	6,260,000		人権・同和教育課	解放教育講座 実施日 6月8日 テーマ「障害者差別解消法を学ぶ」 講師 小林 一義さん 参加者 25人 実施日 7月13日 テーマ「母娘で問うた部落差別」 講師 坂田かおりさん 参加者 74人 実施日 8月31日 テーマ「在日外国人の人権」 講師 新井良穂さん 参加者 27人 実施日 9月21日 テーマ「いじめ・不登校・ひきこもりの問題」 講師 浪花英樹さん 参加者 58人		
	人権・同和教育推進事業(法務省委託)	人権・同和教育の推進のため、広く住民を対象に人権に関する学習機会を提供する。	「人権・同和教育に関する意識調査」における過去5年間の研修等への参加回数について設問で、「参加した」の回答割合(H31 67%)	413,000		人権・同和教育課	7月30日(日)に琴浦町差別をなくする町民のつどいを開催した。(206名参加)参加者アンケートにおいて「毎年参加」「参加したことがある」との回答が80.6%だった。		
	定住外国人に対する支援事業	在住外国人の生活の安定と向上を目指す支援を行い、日々の暮らしにくさの解消を図る。	交流のつどい満足度90%以上	68,000		町民生活課	9月末時点で事業未実施		
	高齢者支援サービス事業 緊急通報装置	一人暮らし高齢者世帯に緊急通報装置を設置することで、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応ができる体制をつくります。		832,000		福祉あんしん課	9月末時点登録者:24人		
	空き家対策事業	倒壊の恐れのある危険家屋の把握を行うとともに、所有者に対し、適正な管理を働きかける	危険家屋所有者への指導・勧告を行う。	2,455,000		総務課	空き家対策審議会を開始し43物件の審査を実施、今後勧告予定補助金制度の活用3件		
	常備消防費	広域常備消防を維持するための負担金を支出する。		239,923,000		総務課	広域消防への負担金支出		
	非常備消防事務経費	消防団を組織し、住民の生活、財産を守る。	火災件数 0件	37,243,000		総務課	建物火災3件・車両1件・その他2人(死者2人)		
	消防施設経費	防災行政無線、消火栓等を整備し、防災力の強化を図る。	災害被害者ゼロ	11,065,000		総務課	防災士養成を新たにスタート25名の育成を目指す		
	交通安全対策	交通事故ゼロを目標に、安全思想の普及、指導員の活動、組織の育成等を図る。	町内交通事故件数及び死亡事故件数 0件	7,206,000		総務課	交通安全PRイベントを開催		
	心身障がい者医療費	医療費の半額を助成し、健康の保持と世帯の生活の安定を図る。	なし	3,600,000		町民生活課	対象者64名 支給合計1,653,217円		

	障がい者福祉費	障がい者の自立促進・生活改善・社会参加を増進するため、障がい福祉サービスの充実を図る。	障がい者インフルエンザ接種率 40%	65,000		福祉あんしん課	対象者89名に対し10月に案内を配布。		
	重度障がい者タクシー料金助成	重度障がい者にタクシー料金の一部を助成し、日常生活の利便と社会参加の拡大を図る。	なし	1,056,000		福祉あんしん課	97名に対し、2,724枚(1枚500円)にタクシー券を交付。		
	重度在宅障がい者福祉手当	特別障害者手当(障害児福祉手当)受給者に所得保障の一環として、町が手当を支給する。	なし	1,080,000		福祉あんしん課	月額2,000円を3月に支払う。現在の対象者35名。		
	障がい児者を育てる地域の支援体制整備事業	重症心身障がい児者の利用する障がい福祉事務所が医療機器の購入する際に費用を助成することで、より安心安全なサービス利用ができる環境を整備する。	なし	0		福祉あんしん課	今年度は事業実施予定なし		
	重症心身障がい児者等支援事業補助金	重度障がい児者の利用する障がい福祉事業所の支援対応に対し費用を助成することで、安心安全なサービス利用ができる環境を整える。	なし	1,029,000		福祉あんしん課	生活介護の利用者1名に対し実施している。		
	手話通訳者派遣事業	町が主催する事業に手話通訳者を派遣し、音声機能障がい等がある方が参加しやすい環境を整備する。	なし	119,000		福祉あんしん課	9月末時点では実績なし。1月～3月開催の事業に派遣予定。		
	腎臓機能障がい者交通費助成事業	人工透析を必要とする患者等に対して交通費の一部を助成し、福祉の増進を図る。	なし	984,000		町民生活課	対象者38名 支給合計248,500円(残り11,255円支給)		
	特別医療費助成事業(再掲)	健康の保持と生活安全を図るため、重度身体障がい者、重度知的障がい者、重度精神障がい者、特定疾病の方に対し医療費の一部を助成する。	なし			町民生活課	特別医療全体 対象者 3,270名 支給額 58,911,584円 障がい者、特定疾病対象者分 対象者 464名 支給額 31,636,012円		
	除雪対策事業	生活道路の安全確保のため、冬期間の除雪を実施し、住民の安全を図る。	町道主要路線の早期除雪	11,055,000		建設課	除雪機械運転手育成支援事業を制度化し、不足する除雪機械運転手7名の育成を図った。		
	ため池防災減災対策推進事業	農村地域の防災力向上を図るため、ため池の防災・減災対策を行う。	ため池の防災・減災対策	5,165,000		農林水産課	ため池改修に係る費用の負担を行ったほか、森藤地区のハザードマップ作成委託を発注。		

地方創生推進交付金事業進捗状況

事業名：生き生き高齢者、遊びきる子ども～アクティブ“コトウライフ”の実現

事業	事業費 (千円)	交付金 (千円)	担当課	9月末時点での進捗状況	今後の事業計画(具体的に時期などを記入してください)
① 《ことうら流「アクティブシニア活動支援」》 活動実態調査結果に基づき、外部有識者やアウトドアに詳しい地域づくり協力隊員を構成員としたアクティブシニア活動支援検討会を開催し、より時代に合った高齢者地域活動のあり方や活動支援のあり方について検討する。	1,000	500	福祉あんしん課	6月、7月にアクティブ活動支援検討委員会を開催。事業全体の説明を行った。	10月27日に第3回アクティブ活動支援検討委員会を開催。高齢者の社会参画推進のための方策を検討する。
② 《運動支援中核拠点の機能強化》 遊びについての意識等調査結果、健康遊具ニーズ調査結果に基づき、外部有識者を招聘して遊具活用について検討、遊具の設置を行う。また、健康づくりと遊具の有効性についてのフォーラム開催により子どもから高齢者まで幅広い世代の意識啓発を行うとともに、遊具等を使用しての総合運動公園遊びプログラム開発委託、遊具設置設計の委託を行う。	30,500	15,250	社会教育課	7月22日にアクティブ活動支援検討委員会を開催、遊具設置事業をプロポーザルで行う方向となった。8月2日付告示で調達公告を行い、9月18日に選定委員会を開催し、プロポーザル方式で町民意見を受けつつ、ヘイセイ・大久保体器特定建設工事共同企業体を事業受託業者に選定した。	10月27日に第3回アクティブ活動支援検討委員会を開催し、遊具活用、子どもと高齢者の交流促進、子どもの外遊び活性化に向けて「冒険遊び場」の設置等について意見を受け、今後の方向性を検討していく。
合計	31,500	15,750			

地方創生推進交付金事業進捗状況

事業名：広域観光連携推進事業負担金2次交通整備によるFIT受入対応実験事業

事業	事業費 (千円)	交付金 (千円)	担当課	9月末時点での進捗状況	今後の事業計画(具体的に時期などを記入してください)
① <<広域観光連携推進事業負担金>> (広域観光連携推進事業) ・おもてなし・受入環境整備事業 ・プロモーション推進事業 ・情報発信事業 ・温泉地イメージ戦略事業 ・商品開発販売事業 ・誘客戦略事業 (鳥取中部観光推進機構負担金) ・マーケティング、プロモーションの専門職員の人件費支援	3,884	1,942	商工観光課	鳥取中部ふるさと広域連合が(一社)鳥取中部観光推進機構に対して委託する事業に係る連携市町村負担金。 4月から委託契約を行い、事業実施中である。	
合 計	3,884	1,942			

地方創生推進交付金事業進捗状況

事業名：未来を拓く☆ことura農・漁のまちづくり

事業	事業費 (千円)	交付金 (千円)	担当課	9月末時点での進捗状況	今後の事業計画(具体的に時期などを記入してください)
① 《物流コスト削減対策事業》 物流コストを下げる仕組みを構築するため、複数の荷物を運搬する混載方式を試験的に実施する。	1,000	500	商工観光課	産業振興機構との協議の結果、物流の改善を行っても、半額までさがるとはならず、競争力のある価格にならない、中小の県内メーカーの場合は、物流コストが上乗せされても、買っていただける商品を目指すほうが良いとの意見であるため、業務委託は困難となった。	今後設立される鳥取の地域商社との連携により、物流の改善が図れないか検討していく。
② 《琴浦ブランド確立事業》 東京を拠点とする販路開拓コーディネーターの設置、首都圏での商談や消費者へのPRの機会を設けるほか、バイヤーを町内へ招致する。	8,000	4,000	商工観光課	○ことura商品販路開拓事業 3年目を迎え、これまでの活動が身を結び、新規の取引成立に繋がっている。9月には大山乳業以外の地元業者の商談も成立した。 ○食のるつば琴浦物産フェア 9月1日～2日、とっとり・おかやま新橋館で、物産フェアを実施した。 ・出店事業者 6事業者 ・来場者数 約600人 ・参加バイヤー数 5社	○ことura商品販路開拓事業は、最終年度として、引き続き販路の開拓を目指す。 ○食のるつば琴浦物産フェアについては、事業完了
③ 《生薬・機能性作物産地化事業》 ほ場における試験栽培や収量を増加させるための研究や栽培指導を委託するほか、生産された生薬・機能性作物の販路開拓を行う。	3,000	1,500	農林水産課	市場のニーズが見込まれる作物を選定し、大父地内及び杉下地内のほ場に機能性作物を作付した。	今年度の栽培結果を踏まえ、栽培普及を推進していく。
④ 《新規就農者確保対策事業》 生産者、JA、関係機関で研修内容等について協議を行って行くほか、田舎暮らし希望者を対象とした農業体験や、就農相談会を開催する。また、農業体験の観光メニュー化を目指し、農業体験の実施とあわせた民泊についても検討を行う。	200	100	農林水産課	7月にミニトマト、ブロッコリー、梨生産部等と農業研修の受け入れ等について意見交換を行い、研修制度等の検討を行った。	年内に研修制度についての詳細を決定し、4月からの受入を目指す。
⑤ 《ことura観光商品開発プロジェクト事業》 プロ目線による新たな観光商品を磨き上げ・テストマーケティングや旅行会社等への売り込みといったPRを行う。	1,000	500	商工観光課	未実施	要協議
合計	13,200	6,600			

地方創生推進交付金事業進捗状況

事業名:「活きがちがう！陸でギンザケの泳ぐ日本一のまち」新産業創出戦略事業

事業	事業費 (千円)	交付金 (千円)	担当課	9月末時点での進捗状況	今後の事業計画(具体的に時期などを記入してください)
① 《琴浦サーモン商品開発等委託業務》 ギンザケを本町の新たな特産物として国内外に売り出すため、ギンザケを活用したメニューや農畜産物とのコラボレーション商品、ロゴの開発、販売方法の検討を行う。	2,000	1,000	商工観光課	未実施	今後の方針については、要協議
② 《戦略的生産販売組織支援事業》 町内外の様々な分野との連携を図るため、新たな組織を構築し、輸出事業に必要なノウハウやスキルの習得、新規相手国の情報不足を補うため、セミナー、商談会へ参加し情報の取得及び新規販路開拓を行う。	3,000	1,500	商工観光課	未実施	今後の方針については、要協議
合 計	5,000	2,500			

地方創生推進交付金事業進捗状況

事業名：名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト

事業	事業費 (千円)	交付金 (千円)	担当課	9月末時点での進捗状況	今後の事業計画(具体的に時期などを記入してください)
① 《大山開山1300年祭ウォーキング・トレッキング活用事業》 ・継続的な誘客の創出 ・PR・情報発信	1,000	500	商工観光課	10月21日(土)に一向平でトレッキングを実施予定	10月21日(土)に一向平でトレッキングを実施予定
合計	1,000				

琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂（案）について【概要】

平成 27 年 10 月に策定した琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略について、平成 27 年度と 28 年度の取組状況とその検証結果（数値目標の達成度など）、また新たな動きや課題を踏まえ、「琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を次のとおり改訂する予定です。

改訂の概要

- ① 平成 28 年度の事業進捗状況を踏まえ、各テーマごとの KPI を修正
（上方修正 5 件、~~下方修正 1 件~~、その他の修正 7 件）

主な KPI の改訂状況

【上方修正】

テーマ	項目	修正前（現行）	修正後	参考（直近の実績）
創る	和牛優良血統牛町内保有頭数	保有頭数 10 頭	導入頭数 200 頭	H28 の導入実績：53 頭
創る	町内事業所の従業員数	基準値:6,535 人 目標値:6,600 人	基準値：6,810 人 目標値：6,880 人	国勢調査の速報値から確定値へ修正
輝く	地域おこし協力隊の定住人数	3 人	4 人	H29 までに 4 人委嘱
根づく	空き家ナビ登録件数	60 件	100 件	H28：20 件
根づく	空き家を活用した移住定住件数	空き家を活用した移住定住件数 25 件	空き家ナビの成立件数 30 件	H28：5 件 H29 年度契約成立 7 件（9 月末現在）

~~【下方修正】~~（~~下方修正せず、達成に向けて努力すべき~~）

テーマ	項目	修正前（現行）	修正後	参考（直近の実績）
輝く	男性の育児休業取得による奨励金対象者数	男性の育児休業取得者数：30 人	男性の育児休業取得者数：10 人	実績なし（現時点で申請なし）

【その他の修正】

テーマ	項目	修正前（現行）	修正後	参考（直近の実績）
創る	地域プラン品目の作付け面積	地域プラン品目の作付け面積	町内主要生産農産物の作付け面積	H28：542.1ha 表現の変更（ブロッコリー、芝、ミニトマト）
輝く	新たな観光商品の開	新たな観光商品	着地型観光の商	H28：1 件

	発件数	の開発件数	品化件数	「観光商品」が分かりにくい為、「旅行商品」であることを明確化
根づく	移住定住ツアー参加者の移住定住者数	移住定住ツアー参加者の移住定住者数 移住定住コース 10人 就農体験コース 5人	体験ツアーや移住相談会参加者の移住者数 15人	H28:0人(鳥取県中部地震により中止) ツアーに限定せず、相談会等も含めた表現に修正
根づく	健康診断結果の有所見者数割合	高血糖 基準値:16.4% 目標値:14%	高血糖 基準値:6.0% 目標値:5.0%	H28 高血糖 5.7% 判断基準を血糖値から HgAc1へ変更

その他、事業名変更等に伴う項目名変更:3件

② 「具体的な取り組み」の修正について

総合戦略の KPI を達成するための具体的な取り組みのうち、地方創生の進化に向けた取り組み、社会情勢、政策の再検討により追加・削除するもの(主なもの)

【追加するもの】

テーマ	内容	担当課
育む	妊娠・出産・子育てに関する相談対応及び継続的支援 (子育て世代包括支援センター「すくすく」の開設)	子育て健康課
	ことうら 10 秒の愛推進事業	社会教育課
創る	農業研修宿泊施設の整備(旧以西小学校)	農林水産課
	芝収穫機の普及支援	//
	養殖等を含めた水産業振興対策(林養魚場への支援)	//
	海外への販路開拓に取り組む事業者の支援	商工観光課
創る・輝く	山陰自動車道(北条道路)及び北条湯原道路等の高速ネットワークによるアクセス向上による取り組み(企業誘致 、観光政策)	商工観光課
輝く	大山開山 1300 年祭と連携した船上山・大山滝の活用	商工観光課
根づく	県と連携したワーキングホリデーの実施	商工観光課
	運動支援中核拠点の機能強化	社会教育課
	アクティブシニア活動支援	子育て・福祉・社会教育
	鳥取県中部地震の経験を生かし、防災士を育成	総務課

【削除するもの】

テーマ	内容	担当課
育む	就職促進奨励金の給付	人権・同和教育課
創る	デイリータウン構想の推進	農林水産課
	地どれ認定シールの作成助成	農林水産課
	町内企業のブランド化推進	商工観光課
	和牛ブランドの確立	農林水産課
	牛乳のまちことうらのPR	〃
	インターネット販売の支援	商工観光課
	雇用促進奨励金助成金の給付	〃
輝く	町内企業の他種業種転換に関する支援	〃
	ことうらの海と町魚「アゴ」の活用	農林水産課 商工観光課
	特急列車停車促進と観光総合窓口の設置	商工観光課
根づく	青年組織連絡協議会の設置	企画情報課 社会教育課
	Uターン者を対象とした奨学金返還の助成	商工観光課
	コンパクトビレッジ構想	企画情報課
	コトウラ CCRC 構想の検討	企画情報課 福祉あんしん課

琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略

(改訂案)

ひとが輝き まちが輝く

コトウライフの創生



いきいき定住！

コトウライフ

KOTOURA LIFE

琴浦町人口減対策ロゴマーク

平成27年10月

(平成30年 月改訂)

鳥取県琴浦町

1. 基本方針	1
2. 総合戦略の位置づけ	2
(1) 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係	2
(2) 基本的な視点	2
(3) 総合戦略の策定経過	3
(4) 計画期間	3
(5) 総合戦略の位置づけ	3
(6) 基本目標の設定と施策の推進・検証	3
(7) 総合戦略のフォローアップ	4
3. 総合戦略の基本テーマ	5
基本テーマ1 コトウラで育む・基本テーマ2 コトウラで創る	5
基本テーマ3 コトウラで輝く・基本テーマ4 コトウラに根づく	6
4. テーマごとの基本目標と具体的施策	8
基本テーマ1 コトウラで育む ～地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり～	
重点項目1 出会いと結婚の希望をかなえる	9
重点項目2 子どもを産み育てやすい町づくりの実現	9
重点項目3 子どもの能力を伸ばす教育環境の充実	11
重点項目4 ふるさとを愛する教育の充実	12
基本テーマ2 コトウラで創る ～安定した就労環境の整備と、魅力あるしごとづくり～	
重点項目1 自然の恵みからなる農林水産業の振興	13
重点項目2 地元産業の発展と新たな展開	14
重点項目3 魅力あるしごとの創出	15
基本テーマ3 コトウラで輝く ～ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり～	
重点項目1 豊かな自然と文化を生かした観光振興	16
重点項目2 女性が輝き、活力を生むまち	17
重点項目3 協働によるまちづくり	18
重点項目4 ふるさとを支えるひとづくり	18
基本テーマ4 コトウラに根づく ～だれもが健康で、心豊かに暮らせるまちづくり～	
重点項目1 移住・定住希望者のIJUターン支援	20
重点項目2 健康寿命日本一を目指すまちづくり	21
5. 用語解説	23

1. 基本方針

本町は、豊かな自然環境や歴史・文化が根づく、やすらぎにあふれた町です。主要産業である農林水産業では、酪農・畜産をはじめ、数多くの農産物が県下でも有数の生産量を誇っています。また、商工業も県下町村ではトップクラスの生産高・出荷高を誇っており、農商工併進のまちです。住民同士のつながりや人と人の絆の強さを生かし、NPOや地域活動団体が数多く活動し、地域の元気づくりと内外へ魅力を発信しています。保育料の軽減をはじめとして様々な施策により子育てしやすい町を進め、特色ある教育により、ふるさとを愛し、ふるさとを支える「琴浦っ子」の育成に力を注いでいます。介護予防では先進的取り組みを展開し、ウォーキングやポイントラリーなどを取り入れた健康づくりを進めています。山陰道の開通により交通アクセスが向上し、災害被害の少ない地域であることなど、暮らしやすい町としての魅力が高まっています。

反面、若者の県外への流出や出生率の低迷により、町全体で人口減少が進んでいます。農業では後継者不足や遊休・荒廃農地が増加し、その他の産業においても経済基盤の縮小が課題です。中山間地などでは過疎・高齢化により、地域づくりの担い手や推進役の減少に歯止めがかからず、地域の次代を担うリーダー人材の不足や集落規模の縮小により、単独で集落機能を維持するのが困難な地域も現れています。

これらの課題に取り組むため、本町では平成26年2月に琴浦町人口減少対策総合施策（コトウライフ）を策定し、取り組みを行ってきました。地方創生に向けては、これらの施策を受け継ぎ、人口減少に歯止めをかけるとともに、人口減少社会でも持続的で活力ある地域をつくる対策の両軸で取り組んでいきます。琴浦町ならではの特徴・特色をふまえ、「弱み」を見極め、「強み」を伸ばしていくことにより、琴浦町における地方創生の具体化を進めるとともに、将来にわたって活力あるまちを維持するため、中長期的な視点から人口減少対策に取り組みます。

琴浦町総合戦略では、多くの町民の皆様のご意見を集約し、人口ビジョンで示した目標人口を達成するよう、次世代の琴浦町を担う「ひとづくり」を中心に、誰もが地域社会で活躍できる「しごとづくり」、賑わいがあり安心して暮らせる「まちづくり」をすすめ、住民満足度の高いまちを目指します。

町民一人ひとりの「ひと」の活力が、「まち」全体の元気と希望につながるという理念のもと、町の将来像を以下のとおりとします。

琴浦町の将来像

ひとが輝き まちが輝く コトウライフの創生

2. 総合戦略の位置づけ

(1) 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係

国が策定した総合戦略の4つの基本目標と政策5原則等をふまえ、本町の特性を生かした「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」を、将来にわたって目指します。

(2) 基本的な視点

琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、国で施行された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、また「琴浦町人口ビジョン」をふまえ、本町の人口減対策及び地域の元気づくりに向けた基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

総合戦略の策定にあたっては、地方創生として新たな施策を盛り込む一方で、いま琴浦町で暮らしている町民の皆様へも目を向けた取り組みも重要であると認識し、琴浦町が掲げる将来像「ひとが輝き まちが輝く コトウライフの創生」に向けて、次の3つの視点で一体的に取り組めます。

① まちづくり

「まち」の活性化のためには、地域コミュニティの強化と、住民による主体的なまちづくりへの取り組みが重要となります。地域を元気にしようという志と行動が、まちの活力向上につながっていきます。また、だれもが住み慣れた地域で安心・安全に暮らすために、公共交通や地域拠点の整備、地域防災力の強化を進めるとともに、様々な分野で官民協働や地域間連携を図り、「地域の総合力」が最大限発揮されるまちづくりを進めます。

② ひとづくり

人口減少社会が進む中で、将来にわたってまちの活力を維持するのは、「ひと」の力で。町民一人ひとりがまちを愛し、ふるさとに誇りを持ち、健康で生き生きと暮らすことで、地域に活力を生みます。そして、その姿を見て育った子どもたちは、小さい頃から地域のよさを認識し、まちを支える担い手として育っていくものと考えます。高齢者から若い世代へ、そして生まれくる子どもたちへ、世代を繋いでまちの活力を維持していくために、「ひと」が元気なまちづくりを進めます。

③ しごとづくり

まちの基幹産業である一次産業に活力を与えるとともに、地元産業の更なる発展と活性化を図ります。企業収益の改善が賃金上昇や雇用拡大につながり、消費の拡大等を通じて更なる収益拡大に結び付くという経済の好循環の実現を目指します。

希望や夢を持って起業する若者への支援や、地域の強みを生かした新たな「しごと」の創出を図り、町民が意欲を持って働き、自らが地域経済の一端を担っているという自覚と誇りを持てるようなしごとづくりを進めます。

(3) 総合戦略の策定経過

町長を本部長とする「琴浦町地方創生推進本部」及び産官学労金言など各種団体の代表で構成する「琴浦町地方創生推進会議」において検討を行うとともに、各地域での意見交換会や町民を対象としたアンケートの実施及びパブリックコメントでの意見をふまえ、町の課題整理や基本目標を設定し、施策の推進を図ります。

(4) 計画期間

琴浦町人口ビジョンにおける人口の将来展望をふまえ、2015年度（平成27年度）から2019年度（平成31年度）までの5年間とします。

(5) 総合戦略の位置づけ

この総合戦略は、琴浦町の目指す姿を町民の皆様と共有し、地方創生を実現する取り組みを共に進めるための指針となるものです。

これらの取り組みは、~~平成19年3月に策定した「第一次琴浦町総合計画」等の~~平成29年3月に策定した第二次琴浦町総合計画「ことうらまちづくりビジョン」と連動し、各種計画との整合性を保ちながら、地元の産業界や教育機関、金融機関や各種団体、そして町民の方々と共に創り上げ、お互いに役割を分担して進めていきます。

(6) 基本目標の設定と施策の推進・検証

国の総合戦略が示す政策4分野ごとの基本目標（下欄1参照）をふまえ、本町における5年後の基本目標を定めます。この基本目標は、事業そのものの結果（アウトプット）ではなく、その結果として町民にもたらされた便益（アウトカム）に係る数値目標とし、この基本目標の実現に向けた基本的方向と具体的な施策を記載し、施策の効果を客観的に検証できる指標（重要業績評価指標：KPI（Key Performance Indicator））を定めます。

また、町長を本部長とする「琴浦町地方創生推進本部」において、施策の実行的推進を図るとともに、「琴浦町地方創生推進会議」等で定期的に取り組み内容を検証し、改善する仕組み（PDCA サイクル下欄 2 参照）を確立します。

1 国の基本目標

- ① 地方における安定した雇用を創出する。
- ② 地方への新しい人の流れをつくる。
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

2 PDCA サイクル

- ① Plan：数値目標・客観的な指標を設定した効果的な地方版総合戦略を策定する。
- ② Do：地方版総合戦略に基づく施策を実施する。
- ③ Check：数値目標や客観的な指標の達成度を通じて、地方版総合戦略の成果を客観的に検証する。
- ④ Action：検証結果をふまえて施策を見直すとともに、必要に応じて地方版総合戦略を改訂する。

(7) 総合戦略のフォローアップ

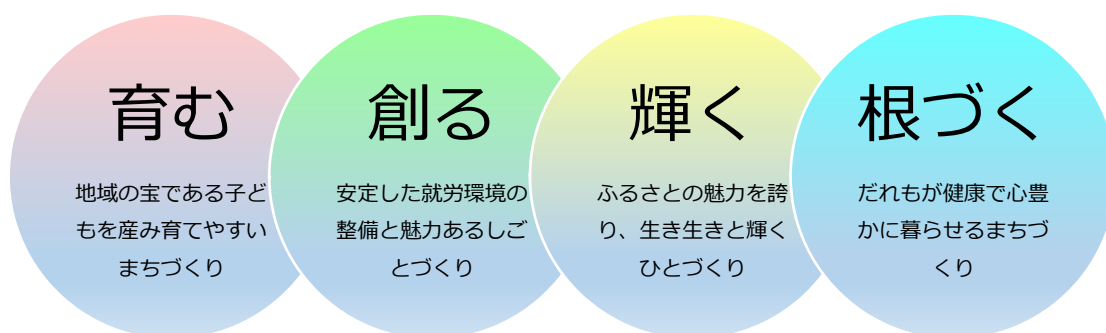
本町は、琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、「まち・ひと・しごと創生」に~~早期に着手します。~~を推進します。

~~今後は、~~鳥取県の総合戦略等との整合を図りながら、広域的な連携を進めるとともに、国が平成 27 年度から提供~~する~~している「地域経済分析システム（RESAS）」による詳細な経済分析や平成 27 年度に実施~~する~~した国勢調査の結果、さらには、~~今後引き続き~~定期的に実施する本町の現状分析・各種意向調査等の結果、及び社会情勢や町民のニーズをふまえ、随時必要な見直しを行います。

また、施策の推進にあたっては、地方創生先行型交付金等の国の財政支援制度や鳥取県版地方創生コンシェルジュ制度などの人的支援制度など、国や県の支援制度を積極的に活用していきます。

3. 総合戦略の基本テーマ

国の総合戦略並びに琴浦町人口ビジョン、さらには平成26年2月に策定した琴浦町人口減対策総合施策（コトウライフ）をふまえ、本町の特性を生かし、次の4つを基本テーマとして施策を進めます。



基本テーマ1 コトウラで**育む**

～地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり～

未来の琴浦町を担っていくのは、子どもたち「琴浦っ子」です。

本町では、独身者の増加や晩婚化の進行、また結婚しても教育費など経済的な不安により希望する子どもの数を実現できないなどの理由から、出生率が低迷しています。結婚・出産・子育てを望む人が、安心してその希望を叶えることのできる仕組みづくりを進めます。

また、ワーク・ライフ・バランス（※1）の推進や働きやすい職場づくりなど仕事と育児の両立支援や、まち全体で子育てを応援する社会環境を整備します。

そして、子どもたちに地域のよさを伝え、豊かな自然の中で様々な経験を積むことにより、ふるさとに愛着と誇りを持ち、活力に満ちた人材を育てる取り組みを進めます。

基本テーマ2 コトウラで**創る**

～安定した就労環境の整備と、魅力あるしごとづくり～

琴浦町における人口減少は、出生率の低下に加え、転出超過による社会減少が主な要因となっています。地域に希望する職場がなく、しごとを求めて県外へ転出したり、進学で転出したまま都会で就職したりすることで若者の流出が進み、若い世代の地域への定着が難しい

状況です。また、人口減少により、産業の担い手不足や、消費者減少による地域経済の衰退も懸念されます。

若い世代が定着するためには、安定したしごとを持ち、経済的に自立し、希望を持って社会で活躍できる環境が必要です。そのために、魅力あるしごとの創出や起業・創業支援に取り組めます。

豊かな自然の恵みからなる一次産業では、経営者の高齢化や後継者不足への対策が必要です。農業では、遊休農地の増加による自然への影響も懸念され、農産物のブランド化や頑張る農家への支援、遊休農地等を活用した新たな取り組みを進めていきます。また、地元産業の安定経営と発展、販路拡大等によるブラッシュアップを図ります。

一人ひとりが地域経済の一端を担っているという自覚と誇りを持ち、活力にあふれたしごとの創生を目指します。

基本テーマ3 コトウラで輝く

～ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり～

琴浦町には自然を生かした名所や、歴史・文化が息づく史跡など、多くの観光地があり、地域に根づく伝統芸能も数多くあります。

この魅力を町民自らが認識し、ふるさとを誇りに思う気持ちの醸成を進め、地域における伝統芸能の継承や協働によるまちづくりを進めていきます。その中で、住民の絆づくりと活力ある次世代の人材育成に取り組めます。

観光では、鳥取県中部エリアへの誘客を推進する広域観光組織（日本版DMO※2）を整備し、中部圏域の魅力を活かした周遊性のある取り組み、及びインバウンド（※3）への取り組み等を支援することにより、鳥取県中部圏域への観光誘客を促進します。そして、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指します。

また、女性が地域や社会でその能力を発揮して活躍することで、まちに活力を生みます。ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画の推進など、女性が輝く社会に向けての取り組みも進めます。

活力あるまちは、そこに住む「ひと」が築き上げるものと考えます。住民一人ひとりが主体的にまちづくりに関わり、「ひと」が輝くことで「まち」全体が輝く、人口減少社会の中でも生き生きと暮らせるまちづくりを目指します。

基本テーマ4 コトウラに根づく

～だれもが健康で、心豊かに暮らせるまちづくり～

琴浦町では高齢化率が3割を超え、今後も少子高齢化の人口構造が続く見込みであり、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせることが必要です。

介護予防・認知症予防に加え、元気な高齢者が地域社会で活躍する仕組みづくりが必要となります。そして、健康寿命の**向上 延伸**とともに、障がいのある方等を含め、あらゆる町民が健康で心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。

また、特に少子高齢化が進む中山間地においては、持続可能で**安心・安全な地域の暮らし**を守るための仕組みづくりや、災害時には「**自助・共助・公助**」が連携した防災体制の構築により、**災害に強いまちづくり**を目指します。

若い世代の移住・定住を進めるために、空き家の活用や家賃助成など、I J Uターンへの支援を充実させます。暮らしやすいまちを発信し、幅広い世代の定住を目指します。そして、進学などで県外に出た若者が「暮らしたい」と思えるまちづくりに取り組みます。

町民一人ひとりが地域で安心して暮らし、地域に根つき、生き生きと輝いて過ごすことで、まち全体の活力向上につながります。そして、その背中を見て子どもたちが育つことで、ふるさとへの想いが育ち、次世代のまちを担う若者が育っていくものと考えます。

4. テーマごとの成果目標と具体的施策

総合戦略における目標を、各テーマごとに設定し、地方創生の実現に向けて各施策を総合的に推進します。

■テーマごとの重点項目と成果目標

1 コトウラで育む		地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり
重点項目 1 出会いと結婚の希望をかなえる 2 子どもを産み育てやすいまちづくりの実現 3 子どもの能力を伸ばす教育環境の充実 4 ふるさとを愛する教育の充実	○事業実施による成婚数 15組（平成27年度から平成31年度の累計） ○合計特殊出生率 1.71（平成31年度数値） ○25歳時点における町内定着率 80%（平成31年度数値）	
2 コトウラで創る		安定した就労環境の整備と魅力あるしごとづくり
重点項目 1 自然の恵みからなる農林水産業の振興 2 地元産業の発展と新たな展開 3 魅力あるしごとの創出	○農林水産業関連への新規就業者 30人（平成27年度から平成31年度の累計） ○新規起業者数 9件（平成27年度から平成31年度の累計）	
3 コトウラで輝く		ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり
重点項目 1 豊かな自然と文化を生かした観光振興 2 女性が輝き、活力を生むまち 3 協働によるまちづくり 4 ふるさとを支えるひとづくり	○観光入込数 9万2千7百人／年（平成31年度数値） ○地域課題解決のための活動数 150回／年（平成31年度数値）	
4 コトウラに根づく		だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり
重点項目 1 移住・定住希望者のIJUターン支援 2 健康寿命日本一を目指すまちづくり	○社会移動による人口減少数 △200人（平成27年度から平成31年度の累計） ○健康寿命の延伸 1.0歳延伸（平成27年度と平成31年度の比較）	

基本テーマ1 コトウラで育む

地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり

- 出会いや結婚・出産を希望する人を総合的に支援するとともに、安心して子育てできる環境を整え、出生率の向上を目指します。
- 保育制度の充実や職場の意識啓発・環境整備の推進等により、育児と仕事の両立支援を図り、まち全体で子育てを応援する地域社会の実現を目指します。
- 子どもの能力を育てる特色ある学校教育の充実と、ふるさとに誇りと愛着を持つ人材を育てるための「ふるさと塾」を推進 育成し、未来を担う「琴浦っ子」を育成し 育てます。

重点項目1 出会いと結婚の希望をかなえる

(1) 縁結び・婚活事業の充実

結婚を希望する若い世代等を対象に、企業や広域連合との連携による男女の出会いの場の提供や、結婚に対する意識の向上を目的としたセミナー等を開催します。また、仲人の役割を果たす縁結びコーディネーターを活用した相談会や独身者のマッチング等を行います。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
事業による成婚者数	15組 (5年間累計)	5組 (H27まで)
結婚に関するセミナー及びイベント町内参加者数	150人 (5年間累計)	— (実績値なし)

<具体的な取り組み>

- ・婚活イベントの実施
- ・縁結びコーディネーターの活用

重点項目2 子どもを産み育てやすいまちづくりの実現

(1) 子育て世代の経済的支援

子育て世代の負担を軽減するため、財政的支援及び子育て環境整備を行います。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
出生数	592 人 (5 年間累計)	117 人 (H25 実績値)
第 3 子以降の出生数	135 人 (5 年間累計)	27 人 (H26 実績値)
保育サービスに満足している保護者の割合	70% (H31 数値)	53% (H25 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・ 特定不妊治療費の助成
- ・ 妊婦・乳幼児健診の充実
- ・ 第 3 子以降出産祝金の交付
- ・ 保育料の軽減 (第 2 子以降保育料無料)
- ・ 保育の質向上を目的とした研修等の実施
- ・ 医療費助成制度の拡充
- ・ 高校生通学費の助成
- ・ **中学生通学費の助成**
- ・ 進学奨励金の給付
- ・ ~~就職促進奨励金の給付~~
- ・ 若年層に対する住宅家賃低廉化

(2) 楽しく子育て・親育て支援

産前・産後の母親へサポートとともに、子育てへの不安や負担感へ寄り添い、必要な支援を行うことでその軽減を図り、子育てを楽しめる社会の実現を図ります。

また、発達障がい等のある子どもへの支援や、**ひとり親家庭及び子どもの貧困対策**を充実させます。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
育児にストレス・悩みを抱えていない保護者の割合	1 歳 6 カ月児 : 50% 3 歳児 : 60% (いずれも H31 数値)	1 歳 6 カ月児 : 40.6% 3 歳児 : 50.4% (いずれも H26 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・ 乳児 (0 歳児) 家庭保育支援給付金の交付
- ・ **妊娠・出産・子育てに関する相談対応及び継続的支援**
- ・ 乳児及び妊産婦に対する健康支援
- ・ 産後ヘルパーの派遣
- ・ すくすくことうらプロジェクト
- ・ 3 世代同居のための住宅リフォームに対する助成
- ・ **ことうら 10 秒の愛推進事業**

(3) 勤労世帯の子育て支援

育児と仕事の両立支援の取り組みを進めるとともに、育児休業制度の整備や子育てへの理解と意識向上など、企業等の協力を得ながら、働きながら子育てをしやすい社会の実現を図ります。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
育児中に働きやすいと感じる人の割合	70% (H31 数値)	50% (H25 実績値)
育児休業 取得向上 促進奨励金事業の利用件数	25 件 (5 年間累計)	5 件 (H27 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・育児休業取得に対する支援
- ・休日保育・病後児保育の実施
- ・ファミリーサポートセンターの充実
- ・放課後児童クラブの充実

重点項目 3 子どもの能力を伸ばす教育環境の充実

(1) 安心して学べる学校環境の充実

琴浦独自の魅力と特色ある学校教育を進めるとともに、発達障がい等のある児童・生徒への支援を強化します。

また、いじめや不登校等に対する外部機関と連携した対応・支援により、安心して学べる学校環境を整備します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
全国学力テストの平均点	全国学力テストで全国及び県平均以上を維持、得点上昇 (H31 数値)	全国及び県平均以上 (H27 実績)
不登校児童・生徒数	H26 年度より減少 (H31 数値)	— (町単位での数値は非公開)
特別支援教育活動コーディネーターの配置人数	2 人 (H31 時点)	1 人 (H27 時点)

<具体的な取り組み>

- ・脳活・スキルアップ学習 (※4) の拡充
- ・魅力、~~特色~~ある教育体制の整備 (ICT 機器の整備と利活用の推進)

- ・鳥取県中部子ども支援センターとの連携
- ・教育相談員やスクールカウンセラー等の設置
- ・発達障がい等への支援や通級教室の設置
- ・学校支援ボランティアの活用
- ・家庭教育の支援及び推進

重点項目4 ふるさとを愛する教育の充実

(1) ふるさとへの誇りと愛着の醸成

自然や農林水産業への体験活動や食育を通じて、子どもの頃からふるさとの素晴らしさを認識し、ふるさとへの関心と誇りを育てます。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
琴浦町に愛着を持つ中学生の割合	アンケートによる数値が毎年前年度を上回る	－ (実績なし)

<具体的な取り組み>

- ・学校教育におけるふるさと学習の充実 ~~(あいラブ琴浦)~~
- ・ことうらのよさを認識できる活動機会の創出
- ・農産物の栽培体験などを通じた「生きる力」や「ふるさと愛」の育成

(2) 文化・芸術・遊びを通じた子どもの心の育成

子どもの頃から文化や音楽などに触れる機会を提供するとともに、公園などの環境整備を行い、芸術や遊びを通じた心と体の育成を図ります。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
授業以外で芸術文化活動に年1回以上触れた児童・生徒の割合	アンケートによる数値が毎年前年度を上回る	－ (実績なし)
芸術体験の実施	町内全小中学校で実施	町内全小学校で実施

<具体的な取り組み>

- ・芸術体験（青少年劇場、とっどりの芸術宅配便、舞台芸術体験事業等）
- ・カウベルホールを活用した幼児の音楽活動体験の実施
- ・土曜学習の充実
- ・遊びを通じたひとづくり
- ・子どもの遊び場環境の整備

安定した就労環境の整備と魅力あるしごとづくり

- 安定的な所得が得られる就業の場や、若者が魅力を感じるしごとをつくりまします。
- 本町の主要産業である農林水産業の基盤強化や、担い手の確保・育成に取り組みまします。
- 琴浦ブランドの発信や地域産業の競争力を高め、更なる発展を支援まします。

重点項目1 自然の恵みからなる農林水産業の振興

(1) 遊休農地の解消と担い手の育成

農林水産業における I J U ターン者への支援や、後継者の確保・育成のための取り組みを行い、一次産業への就業増加を目指まします。

遊休農地や耕作放棄地の有効活用を図るとともに、認定農業者・集落営農組織・農業法人等の育成を推進まします。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
農林水産業への新規就業者数	30 人 (5 年間累計)	1 人 (H26 実績値)
農業生産法人数 農業法人数	16 組 (H31 時点)	13 組 (H26 までの実績値)
遊休農地面積	35.0 h a (H31 数値)	38.4 h a (H26 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・遊休農地の解消と活用
- ・農林水産業への新規就業支援
- ・ I J U ターン者の就農支援 (半農半 X ※5)
- ・農業生産法人化の推進
- ・農業研修宿泊施設の整備

(2) がんばる農家等のチャレンジ支援

農林水産業の規模拡大や安定生産体制の構築、地域の特徴を生かした特産物の開発・育成など、新たな取り組みを支援まします。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
地域プラン(※6)品目 町内主要生産農産物の作付け面積 (ブロッコリー、ミニトマト、芝)	550ha (H31 数値)	530.6ha (H26 実績値)
芝の作付け面積	310.0ha (H31 数値)	306.0ha (H26 実績値)
乳牛 (経産牛) 飼育頭数	2,250 頭 (H31 数値)	2,100 頭 (H26 実績値)
琴浦町における生乳生産量	21,000 t (H31 数値)	19,650 t (H26 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・規模拡大農業者への支援
- ・畜産クラスター事業 (※6) ~~・デイリータウン構想(※8)~~の推進
- ・農業法人化の推進
- ~~・芝産地の活性化を目的とした生産機械の開発~~
- ・芝収穫機の普及支援
- ・養殖等を含めた水産業振興対策
- ~~・地どれ認定シールの作成助成~~

重点項目 2 地元産業の発展と新たな展開

(1) 琴浦ブランド化の推進と販路拡大

本町の主要産業である一次産業の基盤を強化し、農業所得の向上に努めます。

高品質を誇る牛乳や和牛の安定した生産や水産業の振興を図り、「食のるつぼ琴浦」による町産品の発信と首都圏等における販路拡大を進めます。

また、琴浦ブランド化の推進と地域産業の競争力を高め、更なる発展を支援します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
ことうら商品の新規契約件数	5 件 (5 年間累計)	1 件 (H27 実績値)
和牛優良血統牛 (白鵬 85 の= 3、百合白清 2) 町内 保存 導入頭数	10 200 頭 (H31 時点)	2 頭 (H26 時点)
各生産部の販売額 (ブロッコリー、ミニトマト、芝、梨)	2,100,000 千円 (H31 数値)	2,030,116 千円 (H26 実績値)
海外の新規契約件数	3 件 (5 年間累計)	— (実績なし)

<具体的な取り組み>

- ・農林水産物の一次加工（※7）や六次産業化（※8）の推進
- ~~・ことうら商品の販路開拓 商工会や町内事業者と連携した販路開拓支援~~
- ~~・海外への販路開拓 海外への販路開拓に取り組む事業者の支援~~
- ・海外等への販路開拓につながる国際認証の取得支援
- ~~・町内企業のブランド化推進~~
- ・農畜水産物のブランド化支援
- ~~・和牛ブランドの確立~~
- ~~・牛乳のまちことうらのPR~~
- ~~・インターネット販売の支援~~

重点項目 3 魅力あるしごとの創出

(1) 企業誘致の推進と新たなしごとの創出

企業誘致の推進と、起業・創業を目指す若者の支援など、新たな雇用の場の創出に取り組みます。

森林資源を活用した自然エネルギーや里山資源など、再生可能エネルギー（※9）について、技術進歩を見ながら活用を検討します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
新規起業件数	9 件（5 年間累計）	1 件（H27 実績値）
町内事業所の従業員数	6,600 人 6,880 人 (H31 数値)	6,535 人 6,810 人 (H26 実績値)
新規企業誘致件数	1 件（5 年間累計）	－（実績なし）

<具体的な取り組み>

- ~~・雇用促進奨励助成金の給付~~
- ~~・町内企業の他業種転換に対する支援~~
- ・商工会等と連携した起業者への支援
- ~~・山陰自動車道（北条道路）及び北条湯原道路等の高速ネットワークによるアクセス向上のPRによる企業誘致の推進~~
- ・大学を活用した就職支援
- ・再生可能エネルギーの活用

(2) しごとを通じた生きがいつくり

障がいのある人や引きこもりの若者、生活困窮者などの就労を支援し、働くことで生きがいや活力の創出を目指します。

また、高齢化が進む中で、働く意欲のある元気な高齢者が増加していくことから、シルバー人材センターなどを活用した高齢者に対する就労支援を行います。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
一般就労への移行者数	10名（5年間累計）	－（実績なし）

<具体的な取り組み>

- ・~~ワーキングコーディネーター~~ 生活困窮者相談支援員の設置
- ・障がい者雇用の推進
- ・高齢者への就労支援

ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり

- 豊かな自然や歴史・文化の息づく琴浦町の魅力を広く発信するとともに、食素材を生かした特色ある観光振興を推進します。
- 鳥取県中部エリアへの誘客を推進する広域観光組織（日本版DMO）を整備し、**するとともに、山陰自動車道（北条道路）や北条湯原道路等の無料の高速ネットワーク整備による**中部圏域の魅力を生かした周遊性のある取り組み、及びインバウンドへの取り組み等を支援することにより、鳥取県中部圏域への観光誘客を促進します。
- 住民が主体となった地域課題の解決や活性化に向けた取り組みを支援し、新しい自治の仕組みと地域の元気づくりを進めます。

重点項目1 豊かな自然と文化を生かした観光振興

(1) 自然・歴史・文化の継承と地域資源の活用

恵まれた自然環境や歴史、文化など本町の地域資源を守り伝承するとともに、その活用を推進し、その魅力をさらに高めることで特色ある観光振興を図ります。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
新たな観光商品の開発件数 着地型観光の商品化件数	3件（5年間累計）	－（実績なし）

<具体的な取り組み>

- ・地域伝統の継承に対する支援
- ・町内文化的財産を活用した観光振興
- ・町の食材を生かした伝統料理発掘及び活用
- ~~・ことうらの海と町魚「アゴ」の活用~~
- ・大山開山1300年祭と連携した船上山・大山滝の活用

(2) 観光振興による交流人口の増加

観光資源や豊富な食素材・グルメなど既存観光商品のブラッシュアップを図るとともに、物産館ことうら周辺を整備することで交流人口の増加を図り、賑わいと活力を創出します。新たな魅力発掘と発信、着地型・滞在型の観光ルートづくりを推進します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
年間観光入込客数	92万7千人 (H31 数値)	71万3千人 (H26 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・特急列車停車促進と観光総合窓口の設置
- ・物産館ことうらの周辺整備
- ・「グルメ」をキーワードとした観光イベントの開催
- ・アーチェリーによるまちづくり

(3) 広域観光の推進

鳥取県中部地域が連携して、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るための広域観光組織「日本版DMO」を整備し、インバウンド受け入れ対応事業並びに旅行業の資格取得・派遣業務を実施するとともに、~~ATC及びWTC (※12) 開催に向けた取り組みを行います。~~

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
鳥取県中部圏域観光入込客数	260万人 (H31 数値)	210万7千人 (H25 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・鳥取中部ふるさと広域連合を中心とした広域観光の推進
- ・~~アジアトレイルズカンファレンスの共催~~
- ・~~ワールドトレイルズカンファレンスの共催~~
- ・~~名探偵コナンミステリーツアーの共催~~
- ・大山開山 1300 年祭と連携した船上山・大山滝の活用 (再掲)

重点項目2 女性が輝き、活力を生むまち

(1) ワーク・ライフ・バランスの推進と女性の活躍促進

男性の育児参加への理解と意識を促進するとともに、「イクボス」の普及など子育てや介護のしやすい職場環境づくりを進めます。企業と連携した「働き方改革」などにより、仕事と家庭の両立や地域活動への参加などワーク・ライフ・バランスを推進します。

男女共同参画意識の啓発を進め、女性が職場や地域でその能力をより発揮し、誰もが生き生きと活躍できる社会の実現を目指します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
男女共同参画推進企業数	20 企業（H31 時点）	14 企業（H26 時点）
自治会役員における女性の割合	40%（H31 数値）	20.5%（H27 実績値）
男性の育児休業取得による 奨励金対象者数	30 10 人（5 年間累計）	－（実績なし）

<具体的な取り組み>

- ・男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・輝く女性の広報及びPR
- ・育児休業取得促進奨励金の交付
- ・女性登用率の向上

重点項目 3 協働によるまちづくり

(1) まちづくり団体等への支援による地域活性化の推進

住民による地域課題の解決や活性化に向けた主体的な取り組みを支援するとともに、琴浦まちづくりネットワークの運営支援や輝け地域支援事業の業務委託、自治会活動の支援を充実させることにより、地域活性化団体や自治会の活動の発展を促進します。

地域の核となって活動する若手組織の育成や、地域おこし協力隊を活用した地域の元気づくりを進めます。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
地域おこし協力隊の定住人数	3人 4 人（5 年間累計）	－（実績なし）
地域活性化団体の課題解決に向けた取り組み事業数	20 回（H31 数値）	－（実績なし）
自治会による地域振興事業実施回数	130 回（H31 数値）	－（実績なし）

<具体的な取り組み>

- ・まちづくり団体への支援
- ・~~青年組織連絡協議会の設置~~
- ・地域おこし協力隊の活動推進
- ・自治会活動の推進
- ・地域におけるまちづくり活動の推進

重点項目4 ふるさとを支えるひとづくり

(1) 地元リーダー育成の推進

ふるさとを支え、地元を引っ張るリーダーを育成し、地域の活性化を進めます。

また、様々な取り組みを進めるにあたり、各分野・各地域における人材の発掘や育成、活躍を支援します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
ふるさと創生塾生数 琴浦子ども塾生数	60人/年 (H31 数値)	— (実績なし)

<具体的な取り組み>

- ・ふるさと創生塾の設置
- ・琴浦子ども塾の運営

(2) 青少年が主役のまちづくり支援

子ども会活動の充実と中高生の活動の場の創出により、青少年の社会参加意識の向上やまちづくりへの関心を引き出します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
子ども会リーダー研修参加率	70% (H31 数値)	35% (H26 実績)
中高生サークルの設置数	1団体 (H31 時点)	— (実績なし)

<具体的な取り組み>

- ・子どもたちが主体となった活動の推進
- ・ジュニアリーダーの育成
- ・船上山少年自然の家を活用した宿泊体験及び合宿誘致

基本テーマ4 コトウラに根づく

だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり

- 体験ツアーやふるさとの魅力発信により、IJUターン者の増加を目指します。
- 認知症予防の更なる推進と目標を明確化した健康事業の展開により、健康寿命日本一を目指します。
- 健康遊具を活用した子どもと高齢者の交流促進により、高齢者の「生きがい」づくりや子どもの「郷土愛」の育成を図ります。

重点項目1 移住・定住希望者のIJUターン支援

(1) コトウラ体験等による移住・定住促進

琴浦町での生活などを体験するツアーやお試し住宅（※10）の活用、地域の人との交流により住みやすさを実感することで、移住希望者の増加を目指します。

ふるさとの魅力を再確認し、ふるさと愛を育むとともに、町のイメージアップや就職支援のための情報発信を強化し、若者のUターンを促進します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
移住定住ツアー参加者の移住定住者数 体験ツアーや移住相談会参加者の移住者数	移住定住コース10人 就農体験コース5人 （いずれも5年間累計） 15人	－（実績なし）
人口の社会増減数	△200人（H27→H31累計）	△272人（H22→H26累計）

<具体的な取り組み>

- ・移住定住に向けた~~コトウラ暮らし~~体験ツアーの実施
- ・移住定住アドバイザーの設置
- ・~~コトウラ暮らし~~お試し滞在住宅の活用
- ・都市圏での移住相談会の実施
- ・県と連携したワーキングホリデー（※11）の実施
- ・企業ガイドブックの作成
- ・Uターン促進を目的とした25歳を対象とする同窓会の開催支援
- ・町出身者に対する情報提供
- ・~~Uターン者を対象とした奨学金返還の助成~~
- ・琴浦町のよさを題材とした写真コンテストの開催

- ・琴浦町のイメージアップ PR

(2) 空き家の活用や宅地にかかる移住・定住促進

移住・定住希望者の住居の確保を支援するとともに、空き家の利活用を進めます。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
空き家ナビ (※12) 登録件数	60 100 件 (H31 時点)	30 件 (H27 時点)
空き家を活用した移住定住件数 空き家ナビの成立件数	25 30 件 (5 年間累計)	5 件 (H27 までの実績値)

<具体的な取り組み>

- ・きらりタウン赤碕・槻下団地分譲地購入者に対する助成
- ・~~定期借地権の設置~~ 定期借地権付土地制度の実施
- ・~~空き家の利活用~~
- ・~~宅地情報の提供~~
- ・空き家ナビ等を活用した空き家の情報提供
- ・空き家の登録者、移住者への助成
- ・町内不動産事業者等との連携
- ・新築・中古住宅の固定資産税減免措置
- ・新婚家庭への家賃助成

(3) 地域の拠点の整備促進

町民が主体となった地域の拠点づくりを推進するとともに、生活に必要なサービス機能の集約や都市部のアクティブシニア (※13) の活躍の場づくりについて検討します。

また、統合等による空き校舎、空き園舎などの公共施設の有効活用を図ります。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
地域協議会の拠点地区数	5 地区 (H31 時点)	2 地区 (H26 時点)

<具体的な取り組み>

- ・地域の拠点整備促進 (小さな拠点)
- ・集落支援員の設置
- ・~~コンパクトビレッジ構想 (※16)~~
- ・~~コトウラCCRC (※17) 構想の検討~~

重点項目 2 健康寿命日本一を目指すまちづくり

(1) 健康に生きるまちづくり

認知症予防先進地として、ライフステージに応じた介護予防の更なる取り組みを進めます。

ウォーキングや体操などを取り入れ、健康の数値化により目標を明確化した健康事業を展開し、健康寿命日本一を目指します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
健康診断結果の有所見者数割合	高血糖 14 5.0% (H31 数値) 高血圧 29% (H31 数値) 肥満 14% (H31 数値)	高血糖 16.4 6.0% (H26 実績値) 高血圧 31.6% (H26 実績値) 肥満 19.8% (H26 実績値)
1日1時間以上歩行・運動実施者の割合	35% (H31 数値)	健診問診結果 (H25 実績値) 協会けんぽ加入者：24.2% 国保加入者：19.3%
新わくわくことうら体操を毎日する人の割合	20% (H31 数値)	－ (実績なし)
高齢者クラブの加入率	36% (H31 数値)	26% (H27 実績値)
75歳以上の介護認定率	23.5% (H31 数値)	28.5% (H27 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・健康づくり施設の整備 (運動支援中核拠点の機能強化)
- ・ウォーキングの推進
- ・認知症予防の推進
- ・ライフステージに応じた介護予防
- ・食を通じた健康づくり
- ・アクティブシニア活動支援

(2) 安心・安全で暮らせるまちづくり

中山間地域や高齢化の進んだ地域において安心な暮らしを維持するとともに、地域のニーズに即した多様な交通サービスを展開する取り組みを進めます。

鳥取県中部地震の経験を生かし、防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織の結成と防災士 (※14) の育成を促進し、災害に強いまちづくりに取り組みます。

また、人権意識の向上に向けた取り組みにより、誰もが大切にされ、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
自主防災組織結成率	50%（H31 時点）	20%（H26 時点）
安心・安全に暮らせるまち であると感じる人の割合	80%（H31 数値）	－（実績なし）

<具体的な取り組み>

- ・公共交通ネットワークの整備
- ・自主防災組織の強化
- ・**防災士の育成**
- ・中山間地域の活性化
- ・多世代交流の推進
- ・図書館を活用した情報発信
- ・人権意識の向上

5. 用語解説

1. ワーク・ライフ・バランス・・・仕事と生活の調和。やりがいのある仕事と充実した私生活を両立させるという考え方。
2. 日本版DMO・・・・・・・・・・(Destination Management/Marketing Organization の略) 地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティングや戦略策定等を行う観光地域づくりの推進組織。
3. インバウンド・・・・・・・・・・海外から日本を訪れること。
4. 脳活・スキルアップ学習・・・子どもたちの基礎的な学力向上を図るため、簡単な読み書き計算の反復学習等により、脳を活性化させる学習のこと。
5. 半農半X・・・・・・・・・・半自給的な「小さな農業」を営みながら、自分が大切に思うことや好きな仕事をして一定の生活費を得るという新しいライフスタイルのこと。
- ~~6. 地域プラン・・・・・・・・・・広域、市町村、集落といった「地域」において、将来の目指す姿等に向け、話し合いなどにより作成した計画のこと。~~
6. 畜産クラスター事業・・・・・・・・畜産農家をはじめ、地域の関係事業者が連携・結集し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための体制のこと。
- ~~8. デイリータウン構想・・・・・・・・酪農産業全体の振興を図るため、行政と関係機関が連携して、生産拡大から流通・販売までのシステムを構築する取り組み。~~
7. 一次加工・・・・・・・・・・農畜水産物を直接の原料として、その性質を大きく変更することなく処理・加工を行うこと。
8. 六次産業化・・・・・・・・・・~~第一次産業である農林水産業が、~~農林水産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工品の製造・販売や、観光農園のような地域資源を生かしたサービスなど、第二次産業や第三次産業まで~~踏み込むこと。~~
手がけることで、農林水産業の経営体質強化を目指す経営手法。
9. 再生可能エネルギー・・・・・・・・自然の営みから半永久的に得られ、継続して利用できるエネルギー（水力、地熱、太陽熱光、風量力、バイオマスなど）のこと。

- ~~12. ATC及びWTC (Asia Trails Conference , World Trails Conference の略) アジア及び世界各国のウォーキング・トレッキング関係者が集う国際会議。Trail (トレイル、舗装されていない道) を資源として保護・活用する団体が集まり、道の保護・保全や健康づくり、観光面への活用などを話し合う。~~
10. お試し住宅 県外から IJU ターンを検討されている方に町の暮らしを実感していただくため、町が古民家を改修したものの。生活体験や住宅・仕事探しの拠点として利用し、町への移住を促すことを目的とする。
11. ワーキングホリデー 県外在住者が、琴浦町内に一定期間滞在し、働いて収入を得ながら、地域イベントや地域住民との交流を通して、田舎暮らしが体験できる取り組み。
12. 空き家ナビ 町内の空き家の有効活用と、定住促進による地域の活性化を図るため、町がインターネット上に設置した空き家情報登録システム。
13. アクティブシニア 自分なりの価値観をもち、定年退職後にも、趣味やさまざまな活動に意欲的な、元気なシニア層をさす。
- ~~16. コンパクトビレッジ構想 必ずしも生活に必要な施設を中心地に集約・整備するものではなく、旧小学校区を範囲とした生活圏で生活に困らないための仕組み。~~
- ~~17. CCRC (Continuing Care Retirement Community の略) 米国発祥の暮らし方「継続的なケア付きリタイアメントコミュニティ」の略。日本版 CCRC は、高齢者が健康で自立して生活できるうちに入居し、社会活動に参加し、介護が必要になった場合も医療を受けながら暮らし続ける仕組み。~~
14. 防災士 地域の防災意識の啓発、共助の取組や指導などの活動を行う防災リーダー。

※この用語解説は、一般的な用語の解説としてではなく、琴浦町の総合戦略策定にあたっての解釈を記載しています。

平成29年第2回地方創生推進会議における意見・質問

項目	意見・質問等	担当課	回答・方針等	
			推進会議での回答等	担当課意見・回答
総合戦略進捗状況全体	9月末時点での担当課評価があった方が、進捗状況の確認がしやすく、下半期の事業展開の目安となるのではないかと。	企画情報課	次回から、中間評価も記入する方向で検討する。	次回から、中間評価も記入する方向で検討する。
交付金事業進捗状況全体	同上	企画情報課	同上	同上
ふるさとを愛する教育の充実等 ことうら子どもパーク ジュニアリーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・土日開催の行事が多く、部活等で忙しい子どもたちは参加できない。費用対効果が望めないのでは？ ・学校での総合的な学習（そば・梨の栽培体験など）をもっと充実させた方が効果的ではないか。 	社会教育課 教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育のカリキュラムの中では新しい事業を追加していくのがなかなか難しいため、問題意識を持ちながら試行錯誤で進めている。 ・土日開催の行事が、担当が異なることで重複し、参加者が分散している現状もある。課間の連携や事業集約も検討が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育のカリキュラムの中では新しい事業を追加していくのがなかなか難しいため、問題意識を持ちながら試行錯誤で進めている。(教育総務課) ことうら子どもパークの参加者は増加傾向にある。ものづくりを通して、想像力や工夫する力を身につけ、学校間を超えた異学年同士のコミュニケーションを図ることができる。土日開催の行事が重複し、参加者が分散していることについては、今後関係課での連携や事業集約を検討したい。(社会教育課)
山陰自動車道及び北条湯原道路等の高速ネットワークアクセス向上（企業誘致・観光政策）	企業誘致は当面しない方向とあるのに、対策に企業誘致を追加する理由は？	商工観光課	町内の雇用確保のため、今は積極的な企業誘致は考えていないが、県や中部地区、鳥取中部観光推進機構など連携し、広域観光として観光面での取組を検討する。	現時点で積極的な企業誘致は考えていないため、総合戦略についても修正する(高速道路等の活用による企業誘致の推進は外し、観光面での活用に絞る)

平成29年第2回地方創生推進会議における意見・質問

項目	意見・質問等	担当課	回答・方針等	
			推進会議での回答等	担当課意見・回答
企業誘致について	<p>・町に企業（仕事）がないから人が流出する。賃金水準も低い。町内で暮らすために一定の支援が必要ではないか。</p> <p>・現状では企業誘致は難しいかもしれないが、八頭町の「隼ラボ」のような取り組みの門戸は広げてほしい。</p>	商工観光課 企画情報課	<p>大学進学奨励金などのいくつかの制度は設けているが、それで安定した生活の確保は難しい。問題は認識しているが、今は企業誘致は考えていない。</p> <p>先駆的な取り組みに関しての門戸はこれからも広げていく。</p>	<p>推進会議での回答のとおり。</p>
牛乳のまちことうらのPR	なぜ削除するのか。	農林水産課	<p>特定のものだけを特化してPRするのではなく、他の特産物もあわせて「販路開拓支援」に集約し、取り組んでいく。</p>	<p>特定のものだけを特化してPRするのではなく、他の特産物もあわせて「販路開拓支援」に集約し、取り組んでいく。</p>
県と連携したワーキングホリデーの実施	受け手側とのマッチングシステムなどの具体的な内容を示してほしい。	農林水産課 商工観光課	<p>県からの説明では、県が取り組むワーキングホリデー事業に、受け入れ企業等の推薦などで協力してほしいと聞いている。</p> <p>実際のマッチングシステムなどは分かりかねるので、担当課に確認し、改めてお知らせする。</p>	<p>町としては受け入れ企業の推薦を中心に行っています。</p> <p>この事業実施時に町内事業所に具体的な内容を紹介したところ、人材不足を補うためにも取り組みたいという事業所もあり、推薦したところです。</p> <p>マッチングについては県が直接行うこととなっております。(商工観光課)</p>
「男性の育児休業取得者数」の下方修正（30人→10人）について	<p>働き方改革が推し進められている中で、敢えて下方修正する理由は何か。</p> <p>実際の対象者（分母）はどのくらいいるのか？</p> <p>下方修正はしないでいただきたい。</p>	商工観光課	<p>現時点で実績がないのが現状だが、本会の意見を尊重したい。</p> <p>対象者については、担当課に確認する。</p>	<p>男性の育児休業取得者はないのが現状ですが、町内の先進事例等も紹介しながら事業所へのPRを行っていきたいと考えます。</p> <p>対象者についてですが、町内事業所の男性従業員数は3,400名ですが、うち育児休業取得の対象者については把握できません。</p>

平成29年第2回地方創生推進会議における意見・質問

項目	意見・質問等	担当課	回答・方針等	
			推進会議での回答等	担当課意見・回答
「育む」への追加希望	子どもを産みたくないのに妊娠してしまった方への相談窓口を設置してほしい。	子育て健康課 (その他関係課) 教育総務課 福祉あんしん課	妊娠届が出た人や保健師などに相談に来られた場合は、対応していくことができるが、望まない妊娠などで隠したい場合は対象者の把握が難しい案件となる。 民生児童委員や青少年に関する各関係機関との連携が必要と考える。	望まない妊娠への相談対応については、現時点においても、子育て健康課に相談のあったものについては、県福祉保健局や助産師会、産婦人科医等専門機関の紹介のほか、県でも県内中高生に対し、「思春期の相談窓口」として相談窓口の一覧を掲載したカードを配布するなど対応しております。 また、総合戦略への本項目の追加にあっては、改訂版案に追加記載された「・妊娠・出産・子育てに関する相談対応及び継続的支援」に含まれるものとして解しており、改めて追加は行わないと考えております。 (子育て健康課・関係各課)
大山開山1300年祭と連携した船上山・大山滝の活用	船上山・大山滝の活用について、動画などを活用して船上山や大山滝のPRをしてほしい。	商工観光課	PR媒体として動画などは効果的と考えるが、担当課で検討する。	動画での美しい景色のPRなどについて、研究してみたいと考えます。
養殖等を含めた水産振興対策(林養魚場への支援)	今後、加工・製品化という工程が出てくると思うが、加工過程に発生する臭気等の対策についてどう考えているか。	農林水産課	加工についての具体的な場所等は決まっていないが、加工過程での公害問題については問題意識をもって対応していきたい。	加工についての具体的な場所等は決まっていないが、加工過程での公害問題については関係課等と連携し、問題意識をもって対応していきたい。

平成30年2月 議会月例報告会

平成30年2月20日

企画情報課

平成29年度発注状況(1月分)

No.	工事・業務名	担当課	工種	工事箇所	予定価格 (税込)	請負金額 (税込)	落札率	請負業者	完成予定日
1	大成開拓跨道橋橋梁修繕工事(1工区)	建設課	土木一般	八橋	6,285,600	5,940,000	0.945	(株)高野組	H30.3.28
2	特環出上地区(舗装29-2工区)工事	上下水道課	舗装	出上	11,124,000	10,584,000	0.951	(株)井木組	H30.3.30
3	町道発坂線道路改良工事(2工区)	建設課	舗装	三保	15,552,000	14,752,800	0.949	(株)高野組	H30.3.29
4	町道大杉線外舗装修繕工事	建設課	舗装	町内	8,121,600	7,722,000	0.951	馬野建設(株)	H30.3.28
5	町道上伊勢杉下橋線舗装修繕工事	建設課	舗装	上伊勢	6,307,200	5,994,000	0.950	(株)岩見組	H30.3.28
6	町道立子大熊線道路改良工事調査設計業務	建設課	コンサル	高岡	18,036,000	17,172,000	0.952	西谷技術コンサルタント(株)	H30.3.29
7	琴浦町赤碕総合運動公園多目的広場器具倉庫屋根修繕工事	社会教育課	建築一般	松谷	2,624,400	2,349,000	0.895	(株)フジックス	H30.3.23
8	第120号東川河川災害復旧工事	建設課	土木一般	三本杉	3,142,800	3,067,200	0.976	(有)沢田組	H30.3.30
9	小学校教材提示装置購入業務	教育総務課	物品等	町内小学校	1,020,600	975,240	0.956	(株)衣笠商会	H30.3.30
10	町道矢下市内線外区画線設置工事	建設課	安全施設	町内	902,880	874,800	0.969	(株)井木組	H30.3.28
11	琴浦町総合体育館トレーニングルームトレッドミル購入業務	社会教育課	物品	田越	1,080,000	718,200	0.665	(有)マルイスポーツ	H30.3.23
				合計金額	74,197,080	70,149,240			

ステージイベント

芝生スペース
(10:00~13:00)

- 餅つき
- 太鼓演奏
- キッズダンス
- 武道演舞

市場

(10:00~13:00)

- ユアネバフリーマーケット
- ちょ琴浦いや! 琴浦朝市
- 大山乳業特選スイーツ

ご当地グルメ

(10:00~13:30)

- 鯨飯
- ミルククイーンベーグル
- ジビエ料理
- 牛骨ラーメン
- あごカツカレーバーガー
- 琴浦風お好み焼き

ゲームコーナー

(10:00~13:00)

- グランドゴルフゲーム
- 子どもサッカー体験
- 鳴り石ストーンバランス

その他

空き家、
空き地等
活用相談会

第1回

ことうら まま まつり ちちり ネットワーク

琴浦まちづくりネットワークとは…
琴浦町を元気で楽しい町にして、
琴浦町に住む人、
訪ねてきた人たちを笑顔にしたい!

私たちはそんな思いで町の活性化に取り組み、
20の団体が構成されるネットワークです。
※まちネットは琴浦まちづくりネットワークの略称です。

ネットワークでつなぐ
琴浦の
ヒト∞モノ∞コト

平成30年 **3月18日** (日)
9:45~16:00

会場 **カウベルホール全館と
野外芝生スペース**

■無料送迎バスあり(浦安駅~カウベルホール)

■託児、幼児預かり所あり(予約制)

[問] 090-1011-8055 (四門)

ワークショップ

(10:00~13:00)

- 積み木でナイアガラの滝を作ろう!
- 家庭鍋で五感を使ったご飯炊き
- かながけ体験
- 小学生職業体験 キッタイヤ
- イノシシ革細工体験

いにしへの展示

(10:00~13:00)

- 古地図
- いにしへの思い出 風景写真
~八橋・以西・古布庄~

講演 まちネットまつり 記念フォーラム

[申し込み不要]

●カウベルホール(13:30~16:00)

オープニング 小泉八雲の世界
(紙芝居と語り、琵琶演奏)

講演①(30分)

海士町長 山内道男氏

演題
「ないものはない
~離島からの挑戦」



講演②(30分)

株巡の環 代表取締役

阿部裕志氏

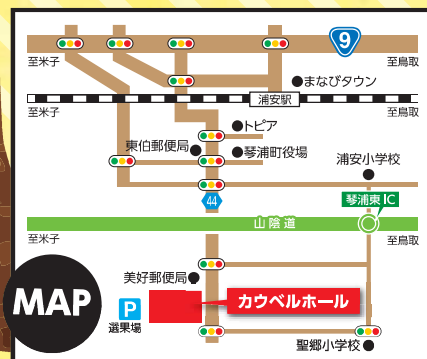
演題
「よそ者が起業して、
地域を興す」



パネルディスカッション(60分)

テーマ「琴浦町のまちづくりを語る」

山内道男氏(島根県海士町長)
阿部裕志氏(株巡の環)
小松弘明氏(琴浦新町長)



主催: 琴浦まちづくりネットワーク/まちネットまつり実行委員会

後援: 鳥取県/琴浦町/琴浦町教育委員会/とっとり県民活動活性化センター/JA鳥取中央/琴浦町工会/TCC鳥取中央有線放送/新日本海新聞社
 会員: あすの以西を創る会/旧道を歩こう実行委員会/古布庄地域振興協議会/琴浦カップ少年サッカー大会実行委員会/琴浦ボレシな暮らし/NPO
 法人 琴浦グルメストリート/琴浦町農業青年会議/琴浦町町工会青年部/琴浦まちおこしの会/NPO法人 塩谷定好フォトプロジェクト/大山乳業農協
 販売部/NPO法人 東伯けんこう/一般社団法人 東伯青年会議所/鳥取民家を大切にする会/鳴り石の浜プロジェクト/白鳥の郷地域活性化協議会
 NPO法人 花本美雄文化振興会/木育サポート 森のきこりん/やばせ振興 魁の会/夢風の風(やばせ)

「熱中小学校」事業の概要

平成30年 2月20日
企画情報課

1. これまでの経緯

- ・ H29.10 オフィスコロボックル代表の堀田一英氏（元 IBM 専務）による、事業に関する講演会。（町民、町議会、町管理職）
- ・ H29.11 事業に関心ある町民4名とともに、山形県高畠町の取組を視察
- ・ H29.12 視察参加者との意見交換の実施
～H30.1
- ・ H29.12 新年度予算要求
- ・ H30.1 推進交付金事業計画、地域再生計画を内閣府に提出
- ・ H30.3 交付決定予定

2. 「熱中小学校」とは

- ・ 全国 11 市町村による広域連携型地方創生プロジェクト
- ・ 地方創生を推進する人材育成を目指す「大人の社会塾」
- ・ 最先端の知識を得る学びの場、出会い・交流を促進する場、起業家精神を育む場
- ・ 講師陣は、現役やOBの経営者、大学教員、芸術家など多彩な顔ぶれで 150 名超

3. 運営・事業計画

【運営主体の形成】

- ・ 町民有志により、（一社）法人格を取得し事業の運営を担っていく
- ・ 人的な支援として、地域おこし協力隊員を事務局に配置
- ・ 財政的支援として、町から運営費などの支援を行う（推進交付金）

【平成30年度】

- ・ 4～9月 運営組織の準備、立上げ、事務所開設、施設改修工事、メディアへの公開、オープンスクールの開催、受講生募集
- ・ 10月 開校、入学式
- ・ 10～3月 第1期スタート

【平成31～32年度】

- ・ 4～9月 第2、4期
- ・ 10～3月 第3、5期

【平成33年度以降（交付金対象外）】

◆目標

- ・受講生の授業料と、行政からの支援を主な財源として開校。行政からの支援に頼らない自立・自走できる運営を目指す
⇒「熱中通販」事業

◆具体的な取組

- ・平成30年度より、連携市町村と「熱中通販」事業に取組み、授業料以外の収益源が確保できるよう、事前に準備していく（出品商品の選定（町内既存商品などで品質の高いものを高く売っていく）、開発、HP開設、運営代行、広告費用など）

4. 熱中小学校運営の組織体制など

